

柏市健康増進計画
平成30年度 進捗状況報告書

令和元年8月

目次

1	栄養・食生活	1
2	身体活動・運動	9
3	休養・こころの健康	17
4	喫煙	23
5	飲酒	29
6	歯・口腔の健康	32
7	糖尿病	40
8	循環器疾患	45
9	がん	50

表の見方	【事業名】	* : 事業名, 事業概要, 指標が全て再掲であるもの
		※ : 事業名は再掲だが, 事業概要または指標が異なっているもの
	【ライフステージ】	○ : 該当
		△ : 一部該当

1. 栄養・食生活

(1)適正体重を維持するための知識の普及																	
①成人女性のやせ(20歳代)[BMI 18.5未満]及び成人男性の肥満[BMI 25.0以上]の減少																	
②児童・生徒の肥満[標準体重の+20%以上]の減少																	
③体重の変化を気にしている人(成人)の割合の増加																	
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②H30年度新規連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成30年度取り組みの成果、今後の課題と 考察及び令和元年度の取り組みについて	令和2年度の方向性			
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期						
保健所 健康増進課	給食施設指導事業	①個別指導(各施設を個別に巡回し、現地指導を実施。電話、来所による相談) ②集団指導(テーマに応じ職種別、施設種類別に研修会を開催) ③調査報告(各給食施設の運営・栄養管理状況を把握するため年2回調査実施)	他課 (学校保健課・保育運営課) 柏市保健所管内集団給食研究会	①なし ②なし	・肥満及びやせの割合の減少 ・啓発媒体活用増加	△	△	△	○	○	△	給食施設指導件数	・平成26年度より各施設における肥満及びやせの割合を把握している。平成29年度までは、当該年度と平成26年度の結果を比較し、+5%以上の施設に対し、改善に向けての計画を立て実施できるよう指導・助言していた。しかし平成30年度は厚労省より指導方針が示されなかったため、比較結果ではなく前年度比が増加している施設へ、個別巡回時に指導していく。 ・喫食者への直接的な指導が難しい施設向けに、啓発媒体を作成した。効果的な周知・配布をし、個々に働きかけられるよう支援を引き続き行っていく。	・各施設の割合変動を確認し、増加傾向にある施設や、該当割合が多い施設における改善対策の指導・助言を継続して行う。 ・新たな改善案を検討し、積極的に取り組んでいく。			
						H26	H27	H28	H29	H30	35件	29件			33件	33件	39件
						「肥満に該当する者の割合」の増加施設割合 (国基準：H26年度比+5%以上)					—	1.0%			1.0%	2.8%	5.6%
						「やせに該当する者の割合」の増加施設割合 (国基準：H26年度比+5%以上)					—	1.0%			1.0%	0.9%	0.0%
						「肥満に該当する者の割合」の増加施設割合 (各施設における前年度比増)					—	47.0%			41.0%	48.1%	57.8%
						「やせに該当する者の割合」の増加施設割合 (各施設における前年度比増)					—	39.0%			37.0%	39.8%	48.6%
学校教育 部 学校保健課	学校給食提供事業 (小学校)	給食を生きた教材として、児童を対象に適切な摂取量や、成長に必要な栄養分を習得する。 また、養護教諭と連携し、咀嚼の重要性や栄養バランスの取れた食事、栄養と運動の両面を意識することで、健康な生活習慣を習得するための食育事業を行う。	学校歯科医	①なし ②なし	定期健康診断における肥満【標準体重の+20%以上】の人数の減少							給食実施回数(平均)	定期健康診断において肥満度+20%以上の割合が増加した。学校栄養職員・栄養教諭と養護教諭とが連携し、健康な生活習慣を習得するための食育の授業等を行う。 令和元年度においても、給食を生きた教材として、児童を対象に適切な摂取量や、成長に必要な栄養量について指導していく。	歯科医と連携して実施する「よく噛んで食べるとよいこと」の授業は効果的であり、多くの学校でも実践できるよう、指導案の公開や授業公開をし、多くの学校で積極的に実施するよう働きかける。			
						H26	H27	H28	H29	H30	185回	185回			185回	185回	185回
						対象者数					21,448人	21,525人			21,690人	21,917人	21,961人
						肥満【標準体重の+20%以上】の人数					1,430人	1,396人			1,506人	1,515人	1,606人
						肥満【標準体重の+20%以上】の割合					6.7%	6.5%			6.9%	6.9%	7.3%
						やせ【標準体重の-20%以上】の人数					347人	262人			284人	304人	286人
						やせ【標準体重の-20%以上】の割合					1.6%	1.2%			1.3%	1.4%	1.3%

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②H30年度新規連 携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成30年度取り組みの成果、今後の課題と 考察及び令和元年度の取り組みについて	令和2年度の方向性								
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期											
学校教育 部 学校保 健課	学校給食提 供事業 (中学校)	給食を生きた教材とし て、生徒を対象に適切な 摂取量の体得、成長に 必要な栄養分を習得す る。 また、養護教諭と連携 し、咀嚼の重要性や栄養 バランスの取れた食事 、栄養と運動の両面を意 識することで、健康な生 活習慣を習得するための 食育事業を行う。	学校歯科医	①なし ②なし	定期健康診断 における肥満 【標準体重の+ 20%以上】の人 数の減少							給食実施回数(平均) H26 H27 H28 H29 H30 180回 180回 180回 180回 180回 対象者数 9,909人 9,936人 9,939人 9,852人 9,754人 肥満【標準体重の+20%以上】の人数 778人 704人 719人 714人 728人 肥満【標準体重の+20%以上】の割合 7.9% 7.1% 7.2% 7.2% 7.5% やせ【標準体重の-20%以上】の人数 295人 247人 231人 251人 287人 やせ【標準体重の-20%以上】の割合 3.0% 2.5% 2.3% 2.5% 2.9%	定期健康診断において肥満度+ 20%以上の割合が増加した。 学校栄養職員・栄養教諭と養護教 諭とが連携し、健康な生活習慣を習 得するための食育の授業等を行う。 令和元年度においても、給食を生きた 教材として、児童を対象に適切な 摂取量や、成長に必要な栄養量に ついて指導していく。	肥満の割合が増える 傾向にある時期で、 ダイエットへの意識も 高まっていく。痩身も 含め、適正な体重管 理ができる正しい知 識を指導していく。								
						保健福 祉部 福祉政 策課 地域包 括支援 課	柏フレイル 予防プロジェ クト2025	医師会、歯科医 師会、薬剤師 会、東京大学 、ふるさと協議 会、社会福祉協 議会、民生委員 児童委員、柏市 民健康づくり推 進員、スポーツ 推進委員、東葛 北部栄養士会、 リハビリテーシ ョン連絡会、地 域包括支援セン ターなど	①イオン株式会 社、JR東日本 ②イオン株式会 社、JR東日本、 柏市生涯現役促 進業議会	市民の意識・行 動変容(栄養、 身体活動、社会 参加の促進)										推進委員会実施回数 H26 H27 H28 H29 H30 - 1回 3回 3回 2回	平成30年度は、市内全域でのフレ イルチェックの展開とともに、柏駅東 口における横断幕・フラッグの掲示 や民間事業者(イオン)と協力した周 知啓発イベントの実施など、幅広く 普及啓発活動を実施した。 今後は、市民のフレイル予防活動の 受け皿となる健康づくり、スポーツ 、食等、フレイル予防に資する事業所 管部局とも連携して、引き続き、柏フ レイル予防プロジェクトの推進に取 り組む。	フレイル予防の普及・ 啓発と効果的な促 進、地域における市 民主体の活動の促 進、フレイル予防に 係る関係機関の連 携・運動を推し進め フレイル予防によ るまちづくりの 実現を目指して いく。

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②H30年度新規連携 機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成30年度取り組みの成果、今後の課題と 考察及び令和元年度の取り組みについて	令和2年度の方向性				
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期							
保健福祉部 地域包括支援課	フレイル予防事業	主に高齢者に対するフレイル(介護予防)事業のうち、栄養をテーマとしたプログラムについて、管理栄養士等が講座を行う。	東葛北部在宅栄養士会、地域包括支援センターなど	①なし ②なし	市民の意識・行動変容(栄養の改善)							フレイル予防講座(栄養)の参加者数	平成30年度は介護予防センターに出前講座の受付を委託したところ、栄養を含め、多くの申請をいただくことができた。 地域包括支援センターにおいても、栄養講座の実施方法について調理実習を含むなど様々工夫しており、前年度よりも多くの方に参加していただくことが出来た。 令和元年度は、出前講座については、引き続き多くの方にご利用いただけるよう、介護予防センターと共に周知をする。 地域包括支援センターにおいては、栄養講座の実施は必須ではなくなったが、地区診断により栄養に課題のある地域で重点的に実施される予定。	同様に取り組む予定である。				
						H26	H27	H28	H29	H30								
						介護予防センター主催の教室						—			—	133人	74人	44人
						フレイル予防出前講座						—			—	85人	145人	199人
						地域包括支援センター主催の教室						—			—	372人	250人	366人
市民生活部 保険年金課	柏市国民健康保険 特定保健指導	特定健診の結果よりメタボリックシンドロームのリスクのある対象者を抽出し、6カ月間の生活習慣改善のための特定保健指導を実施。	・柏市医師会 ・JA(ちば東葛、東葛ふたば、いちかわ) ・千葉県厚生農業共同組合連合会	①なし ②ちば県民保健予防財団 千葉県国保連合会	生活習慣病の発症及び重症化の予防							特定保健指導実施率	勸奨通知の送付及び電話による利用勧奨を行ったことにより、さらに実施率を向上させることができた。 平成30年度から新たに「柏市国民健康保険第2期保健事業実施計画(データヘルス計画)」、「柏市国民健康保険第3期特定健診等実施計画」がスタートしたこと、国が示す「第3期特定健診・特定保健指導」に基づく特定保健指導の支援期間の見直し(6ヶ月から3ヶ月)、初回面談の分割実施が可能となったことから「特定保健指導従事者研修会」において、特定保健指導の実施率向上及び質の向上に資する各機関の取組等、情報交換等を行った。 また特定健診等実施医療機関も含めた医療機関説明会において腎専門医によるCKD(慢性腎臓病)に関する研修会を行った。 令和元年度も引き続き、「柏市国民健康保険第2期保健事業実施計画(データヘルス計画)」、「柏市国民健康保険第3期特定健診等実施計画」に基づき、特定保健指導の実施率向上のための取組を実施し、「専門医による健康講座」等も含めて、かかりつけ医や専門医等と連携した生活習慣病対策につながる特定保健指導を実施していく。	「柏市国民健康保険第2期保健事業実施計画(データヘルス計画)」、「柏市国民健康保険第3期特定健診等実施計画」の計画期間の中間年となることから、中間評価を実施する。				
						H26	H27	H28	H29	H30								
						15.0%	20.1%	21.4%	23.0%	11月以降確定								

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②H30年度新規連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成30年度取り組みの成果、今後の課題と 考察及び令和元年度の取り組みについて	令和2年度の方向性																														
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期																																	
～H28 保健所 成人健 診課 H29～ 市民生 活部 保険年 金課	健康づくり相 談	健康診査の結果により、 生活習慣改善の必要な かたに、保健師・管理栄 養士が個別相談を行い、 個人の生活に即した具 体的なアドバイスを行う。	—	①なし ②なし	健康診査の結果により、生活 習慣改善の必要なかたに、保 健師・管理栄養士が個別相談 を行い、個人の生活に即した具 体的なアドバイスを行う							<table border="1"> <tr> <th colspan="5">相談者数</th> </tr> <tr> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> <tr> <td>88人</td> <td>115人</td> <td>98人</td> <td>35人</td> <td>42人</td> </tr> </table>	相談者数					H26	H27	H28	H29	H30	88人	115人	98人	35人	42人	<p>特定健診の結果、特定保健指導に 該当しない方や、「75歳以上の健康 診査」や「18歳から39歳までの健 康診査」の受診後の事後フォローと して実施している。 令和元年度も引き続き、健診結果等 を元に、対象者のニーズに応じた相 談支援を実施し、生活習慣の改善 に向けた支援をすることで、生活習 慣病の予防及び重症化予防の取組 を推進していく。</p>	「柏市国民健康保険 第2期保健事業実施 計画(データヘルス計 画)」、「柏市国民健康 保険第3期特定健診 等実施計画」の計画 期間の中間年となる ことから、中間評価を 実施する。															
						相談者数																																						
H26	H27	H28	H29	H30																																								
88人	115人	98人	35人	42人																																								
保健所 健康増 進課	へるすアップ 相談	●平成29年度より実施 柏市健康診査、骨粗し ょう症検査の結果、生活習 慣改善の必要なかたに、 保健師・管理栄養士が個 別相談を行い、個人の生 活に即した具体的なアド バイスを行う。	柏市医師会	①なし ②なし	健診等結果を 踏まえて自らの 生活習慣を振り 返り、主体的に 健康づくりに取 り組むことがで きる							<table border="1"> <tr> <th colspan="5">相談利用率(骨粗しょう症検査受診者)</th> </tr> <tr> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>10.7%</td> <td>7.0%</td> </tr> <tr> <th colspan="5">相談利用率(柏市健診受診者)</th> </tr> <tr> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>15.7%</td> <td>2.8%</td> </tr> </table>	相談利用率(骨粗しょう症検査受診者)					H26	H27	H28	H29	H30	—	—	—	10.7%	7.0%	相談利用率(柏市健診受診者)					H26	H27	H28	H29	H30	—	—	—	15.7%	2.8%	<p>平成29年度より、集団調理教室を 開始していたが、平成29年度25 名、平成30年度23名。参加希望 者が少なく、個別相談を希望する 者のほうが多いため平成31年度は 個別相談枠を増やし、調理教室は 廃止となった。 平成30年度相談利用者数につい て、予約枠を超える予約希望があ ったため、相談枠を追加した。 令和元年度は、当相談事業の評 価のひとつとするため、初回相談 から3か月後に被相談者へ電話し、 目標の達成に関する確認や支援を 行う。また、相談時間や指導内容 等運営内容の検討を行う。</p>	個別相談利用者数 の増加率に合わせて 事業内容の検討を行 う。
						相談利用率(骨粗しょう症検査受診者)																																						
H26	H27	H28	H29	H30																																								
—	—	—	10.7%	7.0%																																								
相談利用率(柏市健診受診者)																																												
H26	H27	H28	H29	H30																																								
—	—	—	15.7%	2.8%																																								

(2)野菜の摂取量の増加																																		
④野菜摂取量の増加の割合(成人)																																		
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②H30年度新規連 携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成30年度取り組みの成果、今後の課題と 考察及び令和元年度の取り組みについて	令和2年度の方向性																				
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期																							
保健所 健康増 進課	給食施設指 導事業 (※)	①個別指導(各施設を個 別に巡回し、現地指導を 実施。電話、来所による 相談 ②集団指導(テーマに応 じ職種別、施設種類別に 研修会を開催) ③調査報告(各給食施設 の運営・栄養管理状況を 把握するため年2回調査 実施)	他課 (学校保健課・ 保育運営課) 柏市保健所管 内集団給食研 究会	①なし ②なし	・給食施設の食 品構成における 野菜摂取量の 増加 ・野菜料理の残 渣量の減少 ・ヘルシーメ ニューの提供増 加 ・啓発媒体活用 増加	△	△	△	○	○	△	給食施設指導件数					・個別巡回において、食品構成や野菜 摂取量についての聞き取りに力を 入れ、必要に応じて助言していく。 ・喫食者への直接的な指導が難しい 施設向けに、啓発媒体を作成した。 効果的な周知・配布をし、個々に働 きかけられるよう支援を引き続き 行っていく。	・個別巡回で聞き取り をした野菜摂取量に ついて考察し、新たな 改善案や啓発案を検 討する。																
						H26					H27					H28					H29					H30								
						22件					35件					29件					33件					39件								
保健所 地域保 健課	啓発事業	イベント等の中で運動、 食、タバコ等健康に関す る啓発を実施。一般市民 を対象とし、幅広いテー マについての啓発を行 う。	庁内関係各課 柏市民健康づく り推進員 各種団体及び 企業関係	①なし ②なし	幅広いライフ ステージの市民を 対象にポピュ レーションア プローチをす ること、健康に関 する気づきの場を 作る。	○	○	○	○	○	○	啓発実施者数(全数)					柏市の各地域における推進員の協 力を得ることにより、一定の周知・啓 発活動を展開することができた。 令和元年度も、健康教育や啓発等 を実施し、地域における健康づく りを推進する。	引き続き、健康教育 や啓発等を実施し、 地域における健康づ くりを推進する。																
						H26					H27					H28					H29					H30								
						6,109人					5,235人					4,869人					3,979人					3,705人								
						1,681人					365人					1,076人					290人					1,375人								
保健所 健康増 進課	健康づくり普 及啓発事業	イベント、健康教育の中で 運動、食、タバコ等健康 に関する啓発を実施。一 般市民を対象とし、幅 広いテーマについての啓 発を行う。	・庁内関係各課 ・各種団体及び 企業関係	①モラージュ柏 第一生命 ②なし	幅広いライフ ステージの市民を 対象にポピュ レーションア プローチをす ること、健康に関 する気づきの場を 作る。	○	○	○	○	○	○	啓発実施者数(全数)					バランスのよい食生活や食育レシ ビ、減塩に関するリーフレットを作成 し、啓発を実施。 令和元年度も、野菜を中心に引き続 きバランスのよい食生活や減塩等 についても啓発を行っていきたい。 また令和元年度は、第一生命との 協定により、啓発チラシの配布を依 頼しており、栄養についても広く周 知、啓発していく予定。	増進計画の目標値達 成に近づける内容の 啓発を行っていく。																
						H26					H27					H28					H29					H30								
						6,109人					5,235人					4,869人					1,872人					2,657人								
						1,681人					365人					1,076人					918人					663人								
						※H29年度～ 柏市民健康づくり推進員活動については別掲													啓発実施者数(栄養・食生活)					-					155人					
						※H29年度～ 柏市民健康づくり推進員活動については別掲													依頼の健康教育参加者数(講師:栄養士)					-					-					
						※H30年度～健康増進課として計上													-					-					-					

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②H30年度新規連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成30年度取り組みの成果、今後の課題と 考察及び令和元年度の取り組みについて	令和2年度の方向性									
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期												
保健所 健康増進課	栄養改善事業	「野菜を食べよう柏協力店」事業	柏市保健所管内調理師会 庁内関係各課	①柏市内飲食店 ②なし	野菜を食べることのできる食の環境整備とする。	△	△	△	○	△	△	登録店舗数					調理師会の協力により、店舗数は大幅に増加したが、市民への周知という点で課題が残った。 令和元年度は、登録店舗数を増やすことで野菜を摂取しやすい環境整備を進めるとともに、市民への周知を強化し、野菜の摂取量増加につなげたい。	飲食店にもメリットとなる市民への効果的な周知方法の検討。					
												H26	H27	H28	H29	H30						8店舗	25店舗
保健所 健康増進課	地域・職域 連携推進事業	・柏地域・職域連携推進協議会 ・事業所向けの健康情報等のメール配信 ・啓発リーフレットの配布 ・事業所向け講習会	柏労働基準監督署/柏労働基準協会/柏商工会議所/柏市沼南商工会/代表企業(2社)/東葛北部地域産業保健センター/全国健康保険協会千葉支部/柏市医師会/柏歯科医師会	①健康づくりに取り組む事業所(3社) ②柏労働基準協会	働く世代の生活習慣病予防とこころの健康づくりの推進 社員の健康づくりに積極的に取り組む事業所の増加							メール配信登録事業所数					・30年度は年間11回のメール配信を行う中で、運動や運動関連イベントの情報を配信。健康づくりに取り組む事業所紹介は3社実施。引き続きメール配信の周知を行い、登録事業所の増加を図る。 ・食生活、運動、こころの健康、禁煙、歯・口腔の健康、健(検)診や各種相談窓口の情報をまとめたリーフレットを作成し、事業所等に配布。 ・H30年度より、協議会の参加団体として柏労働基準協会が加わった。事業所への情報発信や講習会の共催など連携を図り、効果的な事業展開につなげていく。 ・柏労働基準監督署と保健所の連名で「健康・安全」をテーマにした、階段ウォークポスターを作成。今年度、事業所へ配布する。	働く世代の健康づくり、職場での健康づくりの推進につながる配信内容、啓発方法の検討					
												H26	H27	H28	H29	H30							
																			講習会参加事業所数				
経済産業部 農政課	食の安全・安心対策推進事業	市職員が農産物をサンプリングし、放射性物質検査を行う。また、検査結果についてホームページや広報などを通じて公表。	①千葉県 ②一般財団法人千葉県環境財団	①一般財団法人千葉県環境財団	食の安全・安心を確保する。							検査品目数・検体数					消費者の不安を取り除き、安心して地元の農産物を購入できるよう継続的に検査を実施していく。また、検査の頻度等に関しては、放射性物質による影響範囲を見極めながら、費用と効果のバランスを配慮しながら実施していく。	検査や生産者への助言等を通じて、引き続き食の安全安心性を確保していく。また、適宜、情報を発信することで、風評被害の防止に取り組んでいく。					

(3)朝食を意識した、バランスのよい食生活の普及																						
⑤朝食の欠食率の減少																						
⑥食事のバランスのよい割合(成人)の増加																						
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②H30年度新規連携 連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成30年度取り組みの成果、今後の課題と 考察及び令和元年度の取り組みについて	令和2年度の方向性								
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期											
保健福祉部 地域包括支援課	栄養改善事業	国が定めた「2次予防事業対象者把握事業」により選定された「低栄養ハイリスク者」の中から、栄養個別相談の希望者に対して、在宅に訪問し、食生活のアセスメントから、栄養指導・栄養相談・調理実習の実践を経て(6回訪問)、適正体重を保ち、要介護状態の予防を図るもの	①東葛地区在宅栄養士会 ②包括支援センター		低栄養の改善					○	栄養改善事業参加状況											
											H24	H25	H26	H27								
											対象者数											
											232人	269人	349人	廃止	-							
参加者数																						
6人	9人	7人	廃止	-																		
保健所 地域保健課	母子保健食育	<ママパパ学級・ママパパッキング> 妊娠期の食生活支援 <離乳食教室> 離乳食のすすめ方 <母と子のつどい・歯ピカ・幼児健診> 栄養講話と個別相談	-	①なし ②なし	「バランスのとれた食事を規則正しくとる健康的な食習慣」を定着させるため、母子保健サービスを活用し、健康づくりの意識づけをする。					○	△	3歳児健康診査における主食・主菜・副菜をそろえた朝食の割合					朝食の内容をみると、主食・主菜・副菜をそろえた割合は変わらない。妊娠期から幼児期の食への関心が高まる時期に、各事業を通じて家族の健康づくりのためのバランスの良い食事について啓発を行い意識付けができた。引き続き、切れ目ない支援を実施していく。	引き続き、各事業を通じてバランスのとれた食事について啓発をしていく。				
												H26	H27	H28	H29	H30						
												28.0%	22.8%	23.6%	24.8%	23.3%						
保健所 健康増進課	栄養改善事業 (※)	・栄養士業務連絡会(栄養改善・健康増進等の支援の推進を検討) ・健康ちば協力店登録推進(健康づくりの取り組みを実施する飲食店の登録) ・栄養関係団体育成(栄養・健康づくりを担う関係団体の育成) ・講演会の企画(食育推進研修会、給食施設従事者研修会、千葉県調理師講習会講師)	・柏市保健所管内調理師会 ・柏市保健所管内集団給食研究会 ・柏市医師会	①アグリコ・コミュニケーションかしわ委員会 ②農政課	関係課、関係団体との連携により食事のバランスのよい割合が増加					△	△	△	△	△	△	研修会実施回数					・食育推進研修会の講師を、農政課を通し、「アグリ・コミュニケーションかしわ委員会」に依頼した。関係部署、団体との連携で、研修内容に深まりを持たせることができた。 ・柏市栄養士業務連絡会において、聖徳大学の教授を講師として招き、管理栄養士・栄養士の業務が多岐にわたり、活躍する分野に広がりがあること、時代の変化によって、ニーズにも変化があることを学んだ。	自己研鑽を積むことで、市民への周知啓発内容を充実させていく。
																H26	H27	H28	H29	H30		
																3回	3回	3回	3回	4回		

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②H30年度新規連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成30年度取り組みの成果、今後の課題と 考察及び令和元年度の取り組みについて	令和2年度の方向性			
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期						
子ども部 保育運営課	クッキング保育	園児が種まきをする前に、豊作を願い集会を開き、栽培～収穫への意欲を育てる。保育園の園児が、作物を栽培し、育てた作物と同じ野菜を利用し、5歳児がクッキングを行い食べる。	各公立保育園の保育士、調理員と保育運営課栄養士との連携※一部の保育園では、地域住民との連携有り。	①なし ②なし	自分たちで育てたものを、友達と一緒に調理し、食べる喜びを味わうことで、食に関心を持つ。	○						クッキング保育実施園数	園児が自分たちで栽培収穫した野菜と同じ種類の野菜を使用することで、栽培から調理までを関連付けて取り組むことができた。また、苦手な野菜など、調理方法によって食べられることに気が付き、バランスの良い食生活に向けた、きっかけ作りができた。クッキング保育の実施後は家庭でも料理をつくるなど、食への興味が広がった。 園児が日々の給食においても、より関心もてるよう調理員との交流や、また、家庭での会話や知識の普及につながるよう食育を進めていく。 また、給食日よりレシピを紹介し保護者へ情報発信をしていく。 令和元年度においては、6月の食育月間に、柏市立図書館本館にて保育園給食ブースを設け、保育園給食レシピの紹介、クッキング保育の様子を集約したパネルの展示等を行った。	園児へ食育を通して、家庭での会話や知識の普及により、バランスの良い食事につながるようなクッキング保育を継続していく。			
						H26	H27	H28	H29	H30	22園 (5歳児全員参加)	22園 (5歳児全員参加)			22園 (5歳児全員参加)	22園 (5歳児全員参加)	22園 (5歳児全員参加)
生涯学習部 中央公民館	成人教育事業 「食育講座」	食に関する課題を踏まえ、講義や調理実習などをとおして、食に関する知識や関心を高める。	—	①なし ②なし	豊かで健全な食生活を実践できる				○	○	○	講座実施状況	飲む点滴といわれる甘酒の調理を通じて免疫細胞のある腸内の活性化と健康とのかわりについて、講義のほか実習を挟んだ試飲体験があり、楽しく学ぶ事ができた。回数が1回だったため2回位にするべきだったとの意見があった。令和元年度は「食育講座」と「いきいき健康ライブ講座」を一本化し、長寿社会の中でいきいきと過ごす手立てを学べる講座にする。	令和元年度の実施状況及びアンケート結果を考慮して、よりニーズのある内容を検討していく。			
						H26	H27	H28	H29	H30	実施回数						
						2回	2回	2回	1回	1回	参加者数						
						59人	26人	24人	27人	30人							
学校教育 部 学校保健課 子ども部 保育運営課 保健所 地域保健課	子ども健康プロジェクト	子ども健康プロジェクトの一環として、柏市の学校給食のメニューを学校給食クックパッドに掲載。パソコンや携帯からでもアクセスして、レシピを確認することができ、パリエーションに富んだ給食メニューを家庭で作ることができる。	学校保健課、保育運営課、地域保健課の栄養士が連携し掲載。	①なし ②なし	簡単にパリエーションに富んだ人気のある給食メニューを周知することで、調理をする意欲を高める。	○	○	○	○	○	年間レシピの閲覧数(年度)と月平均閲覧数	平成27年1月から毎月掲載。平成29年度からは、保育園給食及び離乳食を掲載し、より若い世代が活用しやすい内容として取り組む。	継続し、関係各課連携のもと取り組んでいく。				
						H26	H27	H28	H29	H30	-			-	年間閲覧数 395,550件	年間閲覧数 231,996件	年間閲覧数 285,870件
											月平均 32,962件			月平均 19,333件	月平均 23,823件		

2. 身体活動・運動

(1)運動習慣の定着														
①運動習慣者の割合の増加														
②20～59歳のほとんど運動していない人の割合の減少														
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②H30年度新規 連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成30年度取り組みの成果、今後の課題 と考察及び令和元年度の取り組みについ て	令和2年度の方向性
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期			
地域づくり推進部 スポーツ課	各種スポーツ教室の開催	<p><JR野球教室> 市内中学校23校の中学2年生を対象に、JR東日本野球部の選手達をコーチに招き開催</p> <p><バスケットボール教室> 市内ミニバスケットボールチームに所属している小学生を対象にJX-ENEOSサンフラワーズの選手をコーチに招き開催</p> <p><ティーボール教室> 実施希望のあった市内小学校を対象にYBC柏の選手をコーチに招き開催</p> <p><ランニングクリニック> 市内在住・在勤・在学の方を対象に積水化学女子陸上競技部の選手をコーチに招き開催</p>	<p>JR東日本野球部</p> <p>JX-ENEOSサンフラワーズ</p> <p>YBC柏</p> <p>積水化学女子陸上競技部</p>	<p>①JR東日本野球部</p> <p>①JX-ENEOSサンフラワーズ</p> <p>①積水化学女子陸上競技部</p> <p>①千葉ロッテマリーンズ</p> <p>②なし</p>	市のスポーツを活かしたまちづくりの推進	参加者の技術向上やホームタウンチームである柏市への愛着を深めること	○	○	○	○	○	各スポーツ教室参加者合計	幅広い年齢層を対象に各種スポーツ教室を開催し、スポーツに触れる機会を提供した。令和元年度も引き続きホームタウンチームと連携し、各種スポーツ教室を開催する。	ホームタウンチームと連携した事業を展開することで、市民が柏市への愛着を深めるとともに、東京オリンピック・パラリンピックに向けスポーツへの関心や参加機会を増進し、スポーツを活かしたまちづくりを推進する。
												H26		
保健福祉部 障害福祉就労支援センター	介護予防事業(運動でからだ元気塾)	要介護状態に陥る可能性のある高齢者に対し、専門職が、個々の身体機能に応じた運動内容を助言し、実践する。	地域包括支援センター		週に1回、6ヶ月間にわたり運動を行うことで、自身に必要な運動方法を理解し、運動習慣の定着が図れる。						○	事業効果のあった参加者割合	二次予防事業から一次予防事業として広く普及啓発するため、平成26年度をもって廃止。平成27年度からロコモフィットかしわ事業に移行した。	
												H24		
保健福祉部 地域包括支援課 市民生活部 保険年金課	フレイル予防事業(ロコモフィットかしわ)	市民の身近な地域において、ロコモティブシンドローム(運動器症候群)の予防に関する座学と運動指導を行う。 (40～64歳の国保被保険者も含む)	柏市在宅リハビリテーション連絡会、東京大学高齢社会総合研究機構、地域包括支援センターなど	①なし ②なし	市民が主体的にロコモ予防に取り組むことで、生活習慣病予防、介護予防を推進する。					△	○	ロコモフィットかしわ参加者数	平成30年度は自主グループの立ち上がりが大変活発であった。どうしてこのような動きになったのかをきちんと分析し、令和元年度の事業につなげることで、より多くの方にロコモ予防に努めていただけるようにしたい。	全ての日常生活圏域に自主グループが立ちあがるよう参加者へ働きかけていく。
												H26		

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②H30年度新規 連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ					実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成30年度取り組みの成果、今後の課題 と考察及び令和元年度の取り組みについ て	令和2年度の方向性	
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期				高齢期
保健福祉部 福祉政策課 地域包括支援課	柏フレイル 予防プロジェクト2025 (*)	「フレイル(虚弱)」という 概念を新たに取り入れ、 市民、関係団体、学識経 験者、市による「推進委 員会」を設置・運営しな がら、健康づくり事業の 効果的な運動と地域を 基盤とした市民主体の活 動を推進	医師会、歯科医 師会、薬剤師 会、東京大学、 ふるさと協議 会、社会福祉協 議会、民生委員 児童委員、柏市 民健康づくり推 進員、スポーツ 推進委員、東葛 北部栄養士会、 リハビリテーシ ョン連絡会、地域 包括支援セン ターなど	①イオン株式会 社、JR東日本 ②イオン株式会 社、JR東日本、 柏市生涯現役 促進業議会	市民の意識・行 動変容(栄養、 身体活動、社会 参加の促進)							推進委員会実施回数 H26 H27 H28 H29 H30 - 1回 3回 3回 2回	平成30年度は、市内全域でのフレ イルチェックの展開とともに、柏駅東口に おける横断幕・フラッグの掲示や民間 事業者(イオン)と協力した周知啓発イ ベントの実施など、幅広く普及啓発活 動を実施した。 今後は、市民のフレイル予防活動の受 け皿となる健康づくり、スポーツ、食 等、フレイル予防に資する事業所管部 局とも連携して、引き続き、柏フレイル 予防プロジェクトの推進に取り組む。	フレイル予防の普及・ 啓発と効果的な促進、 地域における市民主 体の活動の促進、フレ イル予防に係る関係機 関の連携・運動を推し 進めフレイル予防によ るまちづくりの実現を 目指していく。
保健福祉部 地域包括支援課	フレイル予 防事業 (※)	主に高齢者に対するフレ イル(介護)予防事業の うち、身体活動をテーマ としたプログラムについ て、リハビリテーション専 門職、運動トレーナー等 が講座を開催する。	柏市在宅リハビ リテーション連 絡会、柏市社会 福祉協議会、柏 市地域包括支 援センターなど	①なし ②なし	市民の意識・行 動変容(身体活 動の促進)							フレイル予防講座(運動)の参加者数 H26 H27 H28 H29 H30 - - 8,625人 6,387人 5,798人 介護予防センター主催の教室 - - 1,157人 868人 664人 フレイル予防出前講座 - - 704人 336人 1,131人	平成30年度は、介護予防センター に出前講座の受付を委託したとこ ろ、多くの申請をいただくことがで きた。 また「かしわロコトレ!」というツールの 普及について包括に協力依頼を したため、包括の実績も大幅に増 加した。 令和元年度は、引き続き多くの方 にご利用いただけるよう周知すると ともに、フレイルチェックの中等度リス ク者の受け皿とする体制を作りた い。	同様に取り組んでいく
保健所 健康増進課	地域ウォー ク	<地域ウォーク> 歩くことが好きな市民を 増やす目的で開催する。 <ウォーキングパスポ ート> 身近な運動である「歩くこ と」が好きな市民が増 え、主体的・積極的な健 康づくりが進められるよ う、ウォーキングパス ポートの活用促進を展開 する。 <手賀沼ふれあいウ ォーク> ※H30年度で終了	市民ウォーキン グ団体 千葉県ウォー キング協会 我孫子市	①なし ②UDCK	・歩くことが好き な市民が増える ・市民が運動を 始めるきっかけ となる							実施状況 H26 H27 H28 H29 H30 手賀沼ふれあいウォーク実施回数 1回 1回 1回 1回 1回 手賀沼ふれあいウォーク参加者数 842人 1,189人 207人 295人 658人 ウォーキングパスポート発行数 597冊 224冊 123冊 2,289冊 2,036冊	手賀沼ふれあいウォークは年1回の イベントであり、天候に左右されや すい点から、今後は年一回の大き なイベントではなく、市民が気軽に 参加できる地域に根ざしたウォー キング講座を複数開催し、運動習慣 がない人たちが運動するきっかけ となる機会を増やしたいと考える。 令和元年度はその準備期間とし、 試験的に地域ウォークを開催予定 であり、民間を活用した委託による 地域ウォークの実施を検討。 ウォーキングパスポートについて は、市民のウォーキング継続や開 始のきっかけ作りとして継続予定で ある。	令和元年度に実施した 内容をもとに、地域 ウォークの展開をして いく。 令和元年度の実施状 況を参考に、修正点 があれば採用しつつ ウォーキングパスポ ートを継続する。

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②H30年度新規 連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成30年度取り組みの成果、今後の課題 と考察及び令和元年度の取り組みについ て	令和2年度の方向性					
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期								
保健所 地域保 健課	啓発事業 (※)	<p><地域ウォーキング> 柏市民健康づくり推進員 が主催し、各地域で住民 同士の仲間づくりと ウォーキングをはじめ きっかけづくりを図る</p> <p>柏市民健康づくり推進員 が主催するウォーキング 以外の運動講座</p>	<p>庁内関係各課 柏市民健康づく り推進員</p> <p>各種団体及び 企業関係</p>	①なし ②なし	<p>・市民が運動を 始めるきっかけ となる</p> <p>・市民の運動時 間が増える</p>							実施状況	<p>柏市の各地域における推進員の協 力を得ることにより、一定の周知・ 啓発活動を展開することができた。 令和元年度も、健康教育や啓発等 を実施し、地域における健康づく りを推進する。</p>	引き続き、健康教育や 啓発等を実施し、地域 における健康づくりを 推進する。					
												H26			H27	H28	H29	H30	
						地域ウォーキング実施回数						16回			12回	17回	12回	12回	
						地域ウォーキング参加者数						235人			251人	374人	151人	153人	
						地域健康(ウォーキング以外)講座実施回数						7回			10回	13回	31回	11回	
						地域健康講座参加者数						257人			470人	557人	593人	461人	
						依頼の健康教育実施者数(全数)													
												H26			H27	H28	H29	H30	
保健所 地域保 健課	啓発事業 (※)	<p>地域サロン等を中心とし た健康教育や各イベン トの中で運動、食、タバコ等 健康に関する啓発および 地域支援を実施。一般 市民を対象とし、幅広い テーマについての啓発を 行う。</p>	<p>庁内関係各課 柏市民健康づく り推進員</p> <p>各種団体及び 企業関係</p>	①なし ②なし	<p>幅広いライフ ステージの市民を 対象にポピュ レーションア プローチをす ること、健康に 関する気づきの場 を作る。</p>							H26	H27	H28	H29	H30			
保健所 健康増 進課	健康づくり普 及啓発事業 (※)	<p>イベント等の中で運動、 食、タバコ等健康に関 する啓発を実施。一般市民 を対象とし、幅広いテ ーマについての啓発を行 う。</p>	<p>庁内関係各課 各種団体及び 企業関係</p>	①モラージュ柏 第一生命 ②なし	<p>幅広いライフ ステージの市民を 対象にポピュ レーションア プローチをす ること、健康に 関する気づきの場 を作る。</p>														
						啓発実施者数(全数)						H26	H27	H28	H29	H30			
												6,109人	5,235人	4,869人	1,872人	2,657人			
						※H28年度までは、柏市民健康づくり推進員の活 動を含む						運動に関するリーフレットを配布。 市で開催しているウォーキングイベ ントの参加勧奨も実施した。 令和元年度も同様に運動に関する 啓発を実施していく。 令和元年度は、第一生命との協定 により、啓発チラシの配布を依頼し ている。モラージュ柏のリーフレット と併せて、運動について広く周知、 啓発していく予定。							
						啓発実施者数(身体活動・運動)						1,430人	2,394人	2,173人	1,315人	717人			
						※H28年度までは、柏市民健康づくり推進員の活 動を含む						依頼の健康教育参加者数(講師:保健師)							
												-	-	-	-	95人			
※H30年度～健康増進課として計上																			

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②H30年度新規 連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成30年度取り組みの成果、今後の課題 と考察及び令和元年度の取り組みについ て	令和2年度の方向性			
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期						
保健所 健康増 進課	地域・職域 連携推進事 業 (*)	・柏地域・職域連携推進 協議会 ・事業所向けの健康情報 等のメール配信 ・啓発リーフレットの配布 ・事業所向け講習会	柏労働基準監 督署/柏労働基 準協会/柏商工 会議所/柏市沼 南商工会/代表 企業(2社)/東葛 北部地域産業 保健センター/ 全国健康保険 協会千葉支部/ 柏市医師会/柏 歯科医師会	①健康づくりに 取り組む事業所 (3社) ②柏労働基準 協会	働く世代の生活 習慣病予防とこ ころの健康づく りの推進 社員の健康づく りに積極的に取 り組む事業所の 増加								メール配信登録事業所数 H26 H27 H28 H29 H30 13社 13社 27社 36社 47社 講習会参加事業所数 - 8社 15社 29社 52社 ・30年度は年間11回のメール配信 を行う中で、運動や運動関連イベ ントの情報を配信。健康づくりに取 組む事業所紹介は3社実施。引き 続きメール配信の周知を行い、登録 事業所の増加を図る。 ・食生活、運動、こころの健康、禁 煙、歯・口腔の健康、健(検)診や各 種相談窓口の情報をまとめたリーフ レットを作成し、事業所等に配布。 ・H30年度より、協議会の参加団体 として柏労働基準協会が加わった。 事業所への情報発信や講習会の 共催など連携を図り、効果的な事業 展開につなげていく。 ・柏労働基準監督署と保健所の連 名で「健康・安全」をテーマにした、 階段ウォークポスターを作成。今年 度、事業所へ配布する。	働く世代の健康づくり、 職場での健康づくりの 推進につながる配信 内容、啓発方法の検 討			
地域づく り推進 部 スポー ツ課	スポーツ施 設予約シ ステム	利用者の利便性を図る。	-	①なし ②スポーツ施設 指定管理者(協 栄・アシックスグ ループ)	スポーツ施設利 用者数の増加								スポーツ施設予約システムの利用 方法の周知、スポーツ大会等の情 報提供を行い、利用者の利便性を 図った	スポーツ施設利用者 数の増加を図るため、 システムを継続して運 用していく。			
						H26	H27	H28	H29	H30	859,519 人	838,827 人			888,964 人	885,602 人	954,675 人
地域づく り推進 部 スポー ツ課	学校体育施 設開放	市民の地域におけるス ポーツ活動の振興を図 る。	市内各小中 学 校	①なし ②なし	利用者数の 増加								利用団体の自主的運営促進のため、 利用団体から選出される総括 管理責任者を連絡調整の中心とす る形とした。 令和元年度は、他自治体の事業運 営方法を調査し、抜本的な見直しを 含め事業のあり方を検討していく。	より多くの市内スポー ツ団体が学校体育施 設開放を利用できるよ う、申請受付方法や利 用許可条件の見直しを 行っていく。			
						H26	H27	H28	H29	H30	354,612 人	355,702 人			345,890 人	319,042 人	256,531 人
地域づく り推進 部 スポー ツ課	スポーツ推 進委員活 動	地域スポーツの推進役と して、日ごろスポーツをし ない人への動機づけな どを行い、スポーツ実施 率の向上を図る。	柏市スポーツ推 進委員協議会	①なし ②なし	参加者増加と スポーツ実施率 の向上								推進委員の募集をホームページや 広報紙を活用し、委員の増員及び 活動の充実を図った。令和元年度 も引き続きは委員の増員についてP Rを強化していく。	市民のスポーツ活動を 更に推進していくた め、委員の増員を図 り、スポーツ推進委員 の活動を更に充実させ るよう支援していく。			
						H26	H27	H28	H29	H30	2,528人	3,002人			2,986人	2,944人	3,122人

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②H30年度新規 連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成30年度取り組みの成果、今後の課題 と考察及び令和元年度の取り組みについ て	令和2年度の方向性					
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期								
地域づくり推進部 スポーツ課	総合型地域 スポーツクラブの育成	クラブが活動する拠点の確保や運営のためのスタッフの確保、クラブを知ってもらうための広報活動を支援する。	市内総合型地域スポーツクラブ	①なし ②なし	市内クラブの 会員数の増加		○	○	○	○	○	市内クラブ会員数					各団体の活動場所について調整などを行うとともに広報活動により参加者の募集を行う。	会員数の増加を図るため、引き続き広報活動により市内総合型地域スポーツクラブの支援をしていく。	
												H26	H27	H28	H29	H30			
												995人	1,315人	1,234人	1,134人	1,221人			
地域づくり推進部 スポーツ課	スポーツ教室・講習会	スポーツへの参加を促進するため、市主催の事業の他体育協会や指定管理者によるスポーツ教室を開催する。	柏市体育協会 柏市スポーツ推進委員協議会 他	①なし ②なし	参加者の増加	○	○	○	○	○		スポーツ教室・講習会参加者数					平成28年度から市民参加体験型のスポーツイベントを開催し、スポーツを「する」きっかけづくりの場を提供している。指定管理者による自主事業では、「柏市スポーツ施設情報誌」やホームページ、広報などの媒体を使い周知を図っている。	市民がスポーツに親しむことができるよう、より多くの機会を提供していく。	
												H26	H27	H28	H29	H30			
												3,374人	5,383人	5,087人	5,633人	4,388人			
地域づくり推進部 スポーツ課	補助金の交付	スポーツ団体に対し補助金を交付することで、スポーツ事業の充実を図る。	柏市体育協会 柏市家庭婦人スポーツ協会 スポーツ少年団	①なし ②なし	交付団体の 市民大会などの 参加者の増加					○	○	○	交付団体の市民大会などの参加者数					補助金の交付により、交付団体主催による市民大会等の事業が開催され、交付団体の事業の充実が図られている。	引き続き補助金を交付し、スポーツ事業の充実を図っていく。
													H26	H27	H28	H29	H30		
												46,021人	42,285人	48,204人	51,109人	42,284人			
地域づくり推進部 スポーツ課	新春マラソン大会	市民を対象としたマラソン大会を開催する。	柏市体育協会 柏市スポーツ推進委員協議会 他	①なし ②なし	参加者の増加					○	○	○	新春マラソン大会参加者数					平成29年度より、市外からの参加も可能とし、幅広い参加者の増員を図っている。令和元年度は、優勝者への賞品の授与などの仕掛けにより子どもや親子の参加を中心に参加者の増加を図りたい。	子どもや親子の参加を促す広報活動を強化していく。
													H26	H27	H28	H29	H30		
												1,421人	1,529人	1,426人	1,892人	1,630人			
地域づくり推進部 スポーツ課	手賀沼エコマラソン大会	市民の健康増進と街の活性化、及び手賀沼の浄化啓発を図る。	柏市体育協会 柏市スポーツ推進委員協議会 他	①なし ②なし	参加者の増加					○	○	○	手賀沼エコマラソン大会参加者数					平成29年度から定員10,000人、参加費5,000円とし、適正な規模の大会運営ができています。令和元年度も引き続き同規模での運営を行い、さらに安心・安全な魅力ある大会を目指していく。	全国的にランニングブームが停滞している中で、マラソン大会は増えており、参加者の確保が課題、参加者の獲得に向けて今まで以上に工夫が必要であるため、実行委員会（行政含む）で協議したい。
													H26	H27	H28	H29	H30		
												7,822人	7,997人	8,892人	6,012人	9,080人			

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②H30年度新規 連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ					実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成30年度取り組みの成果、今後の課題 と考察及び令和元年度の取り組みについ て	令和2年度の方向性		
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期				高齢期	
生涯学 習部 中央公 民館	成人教育事 業 「いきいき健 康ライフ講 座」	長寿社会の中で元気に いきいきと過ごす手立 てを学ぶ	—	—	運動することの 喜びや運動に 対する達成感を 味わう				○	○	○	いきいき健康ライフ講座参加者 H26 H27 H28 H29 H30 7人 28人 — 28人 —	取り組み内容が、心の健康に関す ることであったため、「3休養・こころ の健康」欄に記載した。		
学校教 育部 指導課	学校体育の 促進関連事 業	①「新体カテスト」の実施 市内小中学校児童生徒・ 握力等計8項目 ②「小学校体育授業サ ポート事業」 小学校10校・特別支援 学級を中心とした体育の 授業支援 ③「運動部活動指導者派 遣事業」 中学校運動部活動・専門 的な指導ができる運動 部活動指導者の派遣	千葉県小中 学校体育連盟柏 支部	①なし ②株式会社 スポーツ文化	①児童生徒の 体力向上 ②支援を必要と する児童の運動 への意欲・技能 の向上 ③運動部活動 に加入している 生徒の意欲・技 能の向上						○	△	①全国平均を上回る項目 H26 H27 H28 H29 H30 52.1% 47.9% 43.7% 38.1% 40.9% ②年間210時間の授業支援・ 実施校の満足度 100% 100% 100% 100% — ③中学校運動部活動指導者派遣数 各校 各校 各校 各校 各校 2~5人 2~5人 3~5人 3~5人 3~5人 計80人 計80人 計87人 計87人 計84人	①に関しては、多くの項目が全国平 均以上となっており、一定の成果は あがっているが、一方では投力等に 関して課題が浮き彫りになってい る。次年度以降も結果分析と対策を 各校に周知し、体力向上に努めて いく。 ②に関しては、平成30年度は、業 者の入札不可となり、事業を実施し なかった。今年度は、スポーツ課の 移管に伴い、スポーツ課で実施して いた「小学校体育サポート教室」を 指導課事業として行っていく。ス ポーツ課と連携を密にとり、事業を 進めていく。 ③に関しては、外部指導者を希望 のあった市内全中学校に配置して いる。専門外の顧問も多いため、 指導者からの専門的な指導に より、意欲・技能が向上している事 例が多数見受けられる。	①分析ソフトの活用による綿密な実態把握と 好事例の周知により、 全国平均を上回る項 目60%を目指す。 ②市内全小学校に事 業展開していく。 ③生徒の意欲・技能の 向上を図るとともに、 安全・安心な部活動運 営ができるよう、運動 部活動指導者への啓 発を行う。
学校教 育部 教育研 究所	幼児教育の 推進(柏市 幼児教育共 同研究)	幼児教育の今日的課題 をもとに、研究テーマ(運 動遊び)を設定し、教育 委員会と市内全幼稚園・ 全保育園が共同で実践 研究を実施。	教育委員会 市内全幼稚園 市内全保育園	①なし ②なし	教職員の力量と 専門性の向上 幼児の体力・運 動能力の基礎 を培う						○	実施幼稚園数 H26 H27 H28 H29 H30 33園 33園 33園 33園 35園 実施幼稚園児数 5,633人 5,574人 5,336人 5,064人 5,013人 実施保育園数 51園 56園 63園 66園 70園 実施保育園児数 1,866人 2,013人 2,051人 2,150人 2,173人	平成30年度は、運動遊びの充実 を重点に取り組んだ。園児の運動 能力測定と生活調査から、多様な 運動遊びの経験があると運動能力 が高い傾向が見られた。各園で運 動遊びの分析を行い、不足してい る動きを補う運動遊びを考えて実践 した。また、保護者向けリーフレットを 作成・配付した。令和元年度は、各 園で目指す子供の姿を明確にし、さ らに多様な動きを取り入れた実践を していく。さらに、同テーマで取り組 んだ10年間の経過について、分析 を行い、運動遊びの啓発資料を作 成する。	令和元年度にテー マの見直しを図り、変更 する可能性がある。 (運動遊びから言語等 へ)	

(2)身体活動・運動に取り組みやすい環境づくり																																											
③1日の歩行時間の増加																																											
④地域活動やボランティア活動への参加意識向上																																											
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②H30年度新規 連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成30年度取り組みの成果、今後の課題 と考察及び令和元年度の取り組みについ て	令和2年度の方向性																													
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期																																
保健所 地域保 健課	啓発事業 (※)	地域サロン等を中心とし た健康教育や各イベント の中で運動、食、タバコ等 健康に関する啓発および 地域支援を実施。一般 市民を対象とし、幅広い テーマについての啓発を 行う。	庁内関係各課 柏市民健康づく り推進員 各種団体及び 企業関係	①なし ②なし	幅広いライフ ステージの市民を 対象にポピュ レーションア プローチをす ること、健康に関 する気づきの場を 作る。	○	○	○	○	○	○	啓発実施者数(全数)					柏市の各地域における推進員の協 力を得ることにより、一定の周知・ 啓発活動を展開することができた。 令和元年度も、健康教育や啓発等 を実施し、地域における健康づく りを推進する。	引き続き、健康教育や 啓発等を実施し、地域 における健康づくりを 推進する。																									
						H26					H27					H28					H29					H30																	
						6,109人					5,235人					4,869人					3,979人					3,705人																	
						※～H28年度については、下記内容と再掲																																					
啓発実施者数(身体活動・運動)											1,430人					2,394人					2,173人					2,737人					3,705人												
※～H28年度については、下記内容と再掲																																											
保健所 健康増 進課	健康づくり普 及啓発事業 (*)	イベント、健康教育等の中 で運動、食、タバコ等健康 に関する啓発を実施。一 般市民を対象とし、幅広 いテーマについての啓発 を行う。	庁内関係各課 各種団体及び 企業関係	①モラージュ柏 第一生命 ②なし	幅広いライフ ステージの市民を 対象にポピュ レーションア プローチをす ること、健康に関 する気づきの場を 作る。	○	○	○	○	○	○	啓発実施者数(全数)					運動に関するリーフレットを配布。 市で開催しているウォーキングイ ベントの参加勧奨も実施した。 令和元年度も同様に運動に関する 啓発を実施していく。 令和元年度は、第一生命との協定 により、啓発チラシの配布を依頼し ている。モラージュ柏のリーフレット と併せて、運動について広く周知、 啓発していく予定。	増進計画の目標値達 成に近づける内容の 啓発を行っていく。																									
						H26					H27					H28					H29					H30																	
						6,109人					5,235人					4,869人					1,872人					2,657人																	
						※H28年度までは、柏市民健康づくり推進員の活 動を含む																																					
						啓発実施者数(身体活動・運動)													1,430人					2,394人					2,173人					1,315人					717人				
						※H28年度までは、柏市民健康づくり推進員の活 動を含む																																					
依頼の健康教育参加者数(保健師)											-					-					-					95人																	
※H30年度～健康増進課として計上																																											

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②H30年度新規 連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成30年度取り組みの成果、今後の課題 と考察及び令和元年度の取り組みについ て	令和2年度の方向性																																												
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期																																															
保健所 健康増 進課	地域ウォー ク (*)	<p><地域ウォーク> 歩くことが好きな市民を 増やす目的で開催する。</p> <p><ウォーキングパスポート> 身近な運動である「歩くこ と」が好きな市民が増 え、主体的・積極的な健 康づくりが進められるよ う、ウォーキングパス ポートの活用促進を展開 する。</p> <p><手賀沼ふれあいウ ォーク> ※H30年度で終了</p>	市民ウォーキン グ団体 千葉県ウォー キング協会 我孫子市	①なし ②UDCK	<p>・歩くことが好き な市民が増える</p> <p>・市民が運動を 始めるきっかけ となる</p>	△	○	○	○	○	△	<p>実施状況</p> <table border="1"> <tr> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>H30</td> </tr> <tr> <td colspan="5">手賀沼ふれあいウォーク実施回数</td> </tr> <tr> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>1回</td> </tr> <tr> <td colspan="5">手賀沼ふれあいウォーク参加者数</td> </tr> <tr> <td>842人</td> <td>1,189人</td> <td>207人</td> <td>295人</td> <td>658人</td> </tr> <tr> <td colspan="5">ウォーキングパスポート発行数</td> </tr> <tr> <td>597冊</td> <td>224冊</td> <td>123冊</td> <td>2,289冊</td> <td>2,036冊</td> </tr> </table>	H26	H27	H28	H29	H30	手賀沼ふれあいウォーク実施回数					1回	1回	1回	1回	1回	手賀沼ふれあいウォーク参加者数					842人	1,189人	207人	295人	658人	ウォーキングパスポート発行数					597冊	224冊	123冊	2,289冊	2,036冊	<p>手賀沼ふれあいウォークは年1回の イベントであり、天候に左右されや すい点から、今後は年一回の大き なイベントではなく、市民が気軽に 参加できる地域に根ざしたウォー キング講座を複数開催し、運動習慣 がない人たちが運動するきっかけと なる機会を増やしたいと考える。 令和元年度はその準備期間とし、 試験的に地域ウォークを開催予定 であり、民間を活用した委託による 地域ウォークの実施を検討。 ウォーキングパスポートについて は、市民のウォーキング継続や開 始のきっかけ作りとして継続予定で ある。</p>	令和元年度に実施した 内容をもとに、地域 ウォークの展開をして いく。 令和元年度の実施状 況を参考に、修正点が あれば採用しつつ ウォーキングパスポ ートを継続する。									
						H26	H27	H28	H29	H30																																																
						手賀沼ふれあいウォーク実施回数																																																				
						1回	1回	1回	1回	1回																																																
						手賀沼ふれあいウォーク参加者数																																																				
						842人	1,189人	207人	295人	658人																																																
						ウォーキングパスポート発行数																																																				
597冊	224冊	123冊	2,289冊	2,036冊																																																						
保健所 地域保 健課	啓発事業 (*)	<p><地域ウォーキング> 柏市民健康づくり推進員 が主催し、各地域で住民 同士の仲間づくりと ウォーキングをはじめ るきっかけづくりを図 る</p> <p>柏市民健康づくり推進員 が主催するウォーキン グ以外の運動講座</p>	柏市民健康づく り推進員	①なし ②なし	<p>・市民が運動を 始めるきっかけ となる</p> <p>・市民の運動時 間が増える</p>	○	○	○	○	○	<p>実施状況</p> <table border="1"> <tr> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>H30</td> </tr> <tr> <td colspan="5">地域ウォーキング実施回数</td> </tr> <tr> <td>16回</td> <td>12回</td> <td>17回</td> <td>12回</td> <td>12回</td> </tr> <tr> <td colspan="5">地域ウォーキング参加者数</td> </tr> <tr> <td>235人</td> <td>251人</td> <td>374人</td> <td>151人</td> <td>153人</td> </tr> <tr> <td colspan="5">地域健康講座実施回数</td> </tr> <tr> <td>7回</td> <td>10回</td> <td>13回</td> <td>31回</td> <td>11回</td> </tr> <tr> <td colspan="5">地域健康講座参加者数</td> </tr> <tr> <td>257人</td> <td>470人</td> <td>557人</td> <td>593人</td> <td>461人</td> </tr> </table>	H26	H27	H28	H29	H30	地域ウォーキング実施回数					16回	12回	17回	12回	12回	地域ウォーキング参加者数					235人	251人	374人	151人	153人	地域健康講座実施回数					7回	10回	13回	31回	11回	地域健康講座参加者数					257人	470人	557人	593人	461人	<p>平成30年度は、各地域の地域特性 や健康課題に応じて、実施し、一定 の参加者数を得た。 令和元年度も、各地域の地域特性 や健康課題に応じながら、フレイル 予防、ロコモ等の柏市として進める 運動活動を、他部署と連携を図り、 周知啓発をしていく。</p>	引き続き、健康教育や 啓発等を実施し、地域 における運動活動を推 進する。
						H26	H27	H28	H29	H30																																																
						地域ウォーキング実施回数																																																				
						16回	12回	17回	12回	12回																																																
						地域ウォーキング参加者数																																																				
						235人	251人	374人	151人	153人																																																
						地域健康講座実施回数																																																				
7回	10回	13回	31回	11回																																																						
地域健康講座参加者数																																																										
257人	470人	557人	593人	461人																																																						
地域づく り推進 部 スポー ツ課	スポーツ推 進委員活動 (*)	地域スポーツの推進役と して、日ごろスポーツをし ない人への動機づけな どを行い、スポーツ実施率の向 上を図る。	柏市スポーツ推 進委員協議会	①なし ②なし	参加者増加と、 スポーツ実施率 の向上	○	○	○	○	○	<p>スポーツ推進委員活動参加者数</p> <table border="1"> <tr> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>H30</td> </tr> <tr> <td>2,528人</td> <td>3,002人</td> <td>2,986人</td> <td>2,944人</td> <td>3,122人</td> </tr> </table>	H26	H27	H28	H29	H30	2,528人	3,002人	2,986人	2,944人	3,122人	<p>推進委員の募集をホームページや 広報紙を活用し、委員を増員及び 活動の充実を図った。令和元年度 も引き続き委員の増員についてPR を強化していく。</p>	市民のスポーツ活動を 更に推進していくた め、委員の増員を図 り、スポーツ推進委員 の活動を更に充実させ るよう支援していく。																																			
						H26	H27	H28	H29	H30																																																
						2,528人	3,002人	2,986人	2,944人	3,122人																																																

3. 休養・こころの健康

(1)睡眠等による十分な休養の確保														
①睡眠による休養を十分にとれていない人の割合の減少														
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②H30年度新規連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成30年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び令和元年度の取り組みについて	令和2年度の方向性
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期			
保健所 保健予防課	こころの病気の啓発・普及活動	<p>〈出前講座〉 こころの健康について講座形式で、正しい知識の普及啓発を行う。</p> <p>〈市民講座〉 講演会により、精神疾患に関する正しい知識の普及啓発を行う。</p>	—	①なし ②なし	より多くの市民が、こころの健康や精神疾患に関する正しい知識を学ぶことができる。	出前講座参加者数						<p>出前講座は申し込み件数も増加し参加人数も増加した。地域団体や業務に関連のある団体からの申し込みが多い現状であるが、30年度から新たに職域への働きかけにより、職域からの出前講座を実施した。今年度も同様に地域職域連携協議会との連携を進めていく。 市民講座は、「摂食障害の基礎知識と治療」を実施。今後も広く一般に精神保健を知っていただく機会となるため、より周知に努めていきたい。</p>	継続	
						H26	H27	H28	H29	H30				
						延224人	延365人	延232人	延629人	延777人				
						市民講座参加者数								
						53人	77人	74人	87人	53人				
(2)上手なストレス解消														
②ストレスを感じた人の割合の減少														
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②H30年度新規連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成30年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び令和元年度の取り組みについて	令和2年度の方向性
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期			
保健福祉部 福祉政策課 地域包括支援課	柏フレイル予防プロジェクト2025 (*)	<p>「フレイル(虚弱)」という概念を新たに取り入れ、市民、関係団体、学識経験者、市による「推進委員会」を設置・運営しながら、健康づくり事業の効果的な連動と地域を基盤とした市民主体の活動を推進</p>	<p>医師会、歯科医師会、薬剤師会、東京大学、ふるさと協議会、社会福祉協議会、民生委員児童委員、柏市民健康づくり推進員、スポーツ推進委員、東葛北部栄養士会、リハビリテーション連絡会、地域包括支援センターなど</p>	<p>①イオン株式会社、JR東日本 ②イオン株式会社、JR東日本、柏市生涯現役促進業協議会</p>	<p>市民の意識・行動変容(栄養、身体活動、社会参加の促進)</p>	推進委員会実施回数						<p>平成30年度は、市内全域でのフレイルチェックの展開とともに、柏駅東口における横断幕・フラッグの掲示や民間事業者(イオン)と協した周知啓発イベントの実施など、幅広く普及啓発活動を実施した。 今後は、市民のフレイル予防活動の受け皿となる健康づくり、スポーツ、食等、フレイル予防に資する事業所管部局とも連動して、引き続き、柏フレイル予防プロジェクトの推進に取り組む。</p>	<p>フレイル予防の普及・啓発と効果的な促進、地域における市民主体の活動の促進、フレイル予防に係る関係機関の連携・運動を推進し、フレイル予防によるまちづくりの実現を目指す。</p>	
						H26	H27	H28	H29	H30				
						—	1回	3回	3回	2回				

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②H30年度新規連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成30年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び令和元年度の取り組みについて	令和2年度の方向性				
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期							
保健所 保健予防課	こころの病気の啓発・普及活動(*)	<p><出前講座> こころの健康について講座形式で、正しい知識の普及啓発を行う。</p> <p><市民講座> 講演会により、精神疾患に関する正しい知識の普及啓発を行う。</p>	—	①なし ②なし	より多くの市民が、こころの健康や精神疾患に関する正しい知識を学ぶことができる。							出前講座参加者数					出前講座は申し込み件数も増加し参加人数も増加した。地域団体や業務に関連のある団体からの申し込みが多い現状であるが、30年度から新たに職域への働きかけにより、職域からの出前講座を実施した。今年度も同様に地域職域連携協議会との連携を進めていく。市民講座は、広く一般に精神保健を知っていただく機会となるため、より周知に努めていきたい。	継続
												H26	H27	H28	H29	H30		
												延224人	延365人	延232人	延629人	延777人		
												市民講座参加者数						
												53人	77人	74人	87人	53人		
保健所 保健予防課	本人・家族の相談・訪問支援等	<こころの健康相談> 精神科嘱託医や職員によるこころの健康に関する相談。	—	①なし ②なし	精神的な問題を抱えた本人や家族を支援し、生活の質の向上を目指す。							精神科医による相談数(回数)					精神科嘱託医や職員によるこころの健康相談を実施し、関係機関や連携を図りながら本人や家族の支援を行った。相談件数が増加しており、安全で迅速な対応ができるよう関係機関等との調整を図り、体制づくりを行っていく。	継続
												H26	H27	H28	H29	H30		
												48件	46件	54件	55件	46件		
												職員による面談や訪問(延数)						
												1,288件	1,357件	1,636件	1,800件	1,549件		
電話相談																		
												7,248件	6,660件	7,570件	8,235件	7,529件		
こども部 子育て支援課	生涯学習部 図書館 保健所 地域保健課	市民ボランティアが1歳6か月健診の受診親子に対し、親子の優しいことばかけやふれあいが子どもの心の成長や言葉の発達に大切であり、絵本を介することによりそういった時間や機会が持ちやすくなること伝える。親子で絵本を開く楽しい体験をしていただき、絵本をお渡ししている。	柏市ふれあいブックスタートの会	①なし ②なし	・絵本を通じ、親子のふれあいや保護者の心安らぐ時間をつくり、子どもの豊かな心を育む ・ことばかけやふれあいにより、愛される経験、守られている経験を積み重ねることが愛着形成につながり、乳幼児の健全な成長を図る。							受取者数					平成30年度は、延べ540人のボランティアが参加し、ブックスタート事業を実施(ほぼ全ての受診者が絵本を受け取った)。今後も、事業を継続しながら、関係課及び連携機関で事業のあり方を協議検討していく。	令和元年度の協議検討結果に基づき、令和2年度の方向性を決定する。
												H26	H27	H28	H29	H30		
												3,354人	3,120人	3,407人	3,391人	3,341人		
こども部 子育て支援課	地域子育て支援拠点事業 こども部 保育運営課	乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の援助を行う事業(児童福祉法第6条の3第6項に規定される事業)	—	①なし ②なし	子育て中の親子の孤立や子育てに対する不安の減少。							地域子育て支援拠点事業 延利用者数					単独型の拠点である「はぐはぐひろば沼南」と「はぐはぐひろば若柴」では、年間約40,000人の利用があり、盛況である。令和元年度は、単独型3箇所目の新規開設に向けて子育て支援施設が少ない田中地区を中心に開設候補地の選定を進めていく。保育園併設型の子育て支援センターについては、各センターの活動内容を充実させていくよう努める。	令和元年度に選定予定の候補地において、開設に向けた事業者選定や開設作業を実施していく予定である。
												H26	H27	H28	H29	H30		
												117,382人	117,956人	119,872人	116,807人	123,248人		

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②H30年度新規連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成30年度取り組みの成果、今後の課題と 考察及び令和元年度の取り組みについて	令和2年度の方向性																																	
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期																																				
生涯学習部 中央公民館	高齢者教育事業 かたくり学級	高齢者に積極的に学習の場に参加してもらつため、多分野にわたり新鮮な情報を提供し、健康で明るい暮らしや生きがい探しを支援する。	—	①なし ②なし	・生きがいづくりや仲間づくり ・健康維持・増進を図り、健康で楽しい日々を過ごせる							○	<table border="1"> <tr><th colspan="5">講座実施状況</th></tr> <tr><th>H26</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th></tr> <tr><td colspan="5">実施回数</td></tr> <tr><td>5回</td><td>5回</td><td>13回</td><td>11回</td><td>9回</td></tr> <tr><th colspan="5">参加者数</th></tr> <tr><td>157人</td><td>159人</td><td>364人</td><td>226人</td><td>217人</td></tr> </table>	講座実施状況					H26	H27	H28	H29	H30	実施回数					5回	5回	13回	11回	9回	参加者数					157人	159人	364人	226人	217人	高齢者の方を講義と体験を組み合わせた講座に参加することで、様々な事に関心を持ってもらい地域活動への一助になった。令和元年度は高齢者教育事業として、「かたくり学級」と「いきいきセミナー」を1本化し、「生涯いきいきセミナー」として、充実した内容で実施していく。	令和元年度の実施状況及びアンケート結果を考慮して、よりニーズのある内容を検討していく。		
講座実施状況																																															
H26	H27	H28	H29	H30																																											
実施回数																																															
5回	5回	13回	11回	9回																																											
参加者数																																															
157人	159人	364人	226人	217人																																											
生涯学習部 中央公民館	家庭教育事業 家庭教育講演会	子育て支援を目的とした「柏市私立幼稚園協会」との連携事業。直面する課題をテーマに講演会を実施。子ども・家族・自分自身を見つめ直し、新たな一歩を踏み出すきっかけづくりを目指す。	柏市私立幼稚園協会	①なし ②なし	子育て中の親子の孤立や子育てに対する不安の解消							○	<table border="1"> <tr><th colspan="5">講座実施状況</th></tr> <tr><th>H26</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th></tr> <tr><td colspan="5">実施回数</td></tr> <tr><td>1回</td><td>1回</td><td>1回</td><td>1回</td><td>1回</td></tr> <tr><th colspan="5">参加者数</th></tr> <tr><td>262人</td><td>385人</td><td>234人</td><td>200人</td><td>134人</td></tr> </table>	講座実施状況					H26	H27	H28	H29	H30	実施回数					1回	1回	1回	1回	1回	参加者数					262人	385人	234人	200人	134人	家族や親子の絆をテーマにしたコンサートを開催した。開催日が平日だったため、参加者が思いの外少なかったが、子育てを卒業した方にも参加してもらい、今後の子育てボランティア活動への一歩を踏み出すきっかけになった。講演会は幼稚園協会との連携事業で実施してきたが、家庭教育事業の見直しにより、元年度からは、講演会形式の講座のあり方について検討する運びとなった。また、「家庭教育セミナー」と「子育て支援講座」の1本化を図り、子育てに関するあらゆる課題と向き合い、家庭で抱えるさまざまな課題解決に寄与する。	家庭教育事業としての見直しを計ると共に、子育てに関するニーズを拾い、他部署との連携に努め実施をしていく。		
講座実施状況																																															
H26	H27	H28	H29	H30																																											
実施回数																																															
1回	1回	1回	1回	1回																																											
参加者数																																															
262人	385人	234人	200人	134人																																											
生涯学習部 中央公民館	地域づくり事業 現代課題講座	地域社会が抱える様々な問題を専門的な視点から掘り下げ関心を高め、人材育成を図り、地域課題の解決へとつなぐことをめざす。	—	①なし ②なし	地域の不安の解消							○	○	○	<table border="1"> <tr><th colspan="5">講座実施状況</th></tr> <tr><th>H26</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th></tr> <tr><td colspan="5">実施回数</td></tr> <tr><td>—</td><td>1回</td><td>1回</td><td>3回</td><td>1回</td></tr> <tr><th colspan="5">参加者数</th></tr> <tr><td>—</td><td>77人</td><td>69人</td><td>91人</td><td>90人</td></tr> </table>	講座実施状況					H26	H27	H28	H29	H30	実施回数					—	1回	1回	3回	1回	参加者数					—	77人	69人	91人	90人	出席率もよく日頃の庭の手入れに関するのノウハウも学ぶことができ、小学生たちとの世代間交流もできた。また小学校外の草で荒れている場所があることも実際に見学し、今後のボランティア活動に繋がった。令和元年度も内容をより充実させて実施していく。	令和元年度の実施状況及びアンケート結果を考慮して、よりニーズのある内容を検討していく。
講座実施状況																																															
H26	H27	H28	H29	H30																																											
実施回数																																															
—	1回	1回	3回	1回																																											
参加者数																																															
—	77人	69人	91人	90人																																											
～H27 生涯学習部 沼南公民館 H28～ 中央公民館	高齢者教育事業 いきいきセミナー	高齢者が健康でより充実した豊かな人生を送るため地域の方々と交流を深め、互いに学ぶことにより、良好な人間関係を築き社会的能力を高め、めまぐるしく移り変わる社会に順応できる能力を養う。	—	①なし ②なし	講座で学んだことを、生活の中で取り入れてもらい、健康で長生きをする。							○	<table border="1"> <tr><th colspan="5">講座実施状況</th></tr> <tr><th>H26</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th></tr> <tr><td colspan="5">実施回数</td></tr> <tr><td>7回</td><td>8回</td><td>8回</td><td>8回</td><td>8回</td></tr> <tr><th colspan="5">参加者数</th></tr> <tr><td>211人</td><td>306人</td><td>280人</td><td>228人</td><td>118人</td></tr> </table>	講座実施状況					H26	H27	H28	H29	H30	実施回数					7回	8回	8回	8回	8回	参加者数					211人	306人	280人	228人	118人	幅広い視点から「ものづくりから学ぶ共創のコミュニティ」を目指した講座だった。普段体験できないバスタブリッジや絶滅危惧種コアシサシの保護活動、国際交流の職員との英語体験を開催した。令和元年度は高齢者教育事業として、「かたくり学級」と「いきいきセミナー」を1本化し、「生涯いきいきセミナー」として、充実した内容で実施していく。	令和元年度の実施状況及びアンケート結果を考慮して、よりニーズのある内容を検討していく。		
講座実施状況																																															
H26	H27	H28	H29	H30																																											
実施回数																																															
7回	8回	8回	8回	8回																																											
参加者数																																															
211人	306人	280人	228人	118人																																											
生涯学習部 中央公民館	成人教育事業 「いきいき健康ライフ講座」	長寿社会の中で元気にいきいきと過ごす手立てを学ぶ	—	①なし ②なし	怒りやストレスを軽減する								○	○	○	<table border="1"> <tr><th colspan="5">いきいき健康ライフ講座参加者</th></tr> <tr><th>H26</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th></tr> <tr><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>25人</td></tr> </table>	いきいき健康ライフ講座参加者					H26	H27	H28	H29	H30	—	—	—	—	25人	ストレスの多い社会の中で怒りやストレスを軽減できる、心のコントロール方法や呼吸法を体験し、ディスカッションを通して心のケアの一助に繋がった。令和元年度は「食育講座」と「いきいき健康ライフ講座」を一本化し、長寿社会の中で元気にいきいきと過ごす手立てを学べる講座にする。	令和元年度の実施状況及びアンケート結果を考慮して、よりニーズのある内容を検討していく。														
いきいき健康ライフ講座参加者																																															
H26	H27	H28	H29	H30																																											
—	—	—	—	25人																																											

(3)自殺予防対策																		
③自殺者数の減少																		
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②H30年度新規連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)					平成30年度取り組みの成果、今後の課題と 考察及び令和元年度の取り組みについて	令和2年度の方向性
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期	H26	H27	H28	H29	H30		
保健福祉部 社会福祉課	自殺予防対策事業	自殺者の減少を目的として、各関係機関との情報共有の場である自殺予防対策連絡会議を開催	庁内関係部局、医師会、民生委員児童委員協議会、柏警察署、千葉大学、柏商工会議所、柏労働基準監督署、柏市社会福祉協議会等	①なし ②なし	自殺者の減少	○	○	○	○	○	○	自殺者数					自殺対策基本法の改正に伴い、柏市自殺対策計画を策定した。自殺予防対策連絡会議及び自殺予防対策庁内連絡会議を通じ、情報共有・計画に基づく事業の進行管理を行う。	自殺対策計画に位置づけた事業の進捗確認・評価等を中心に、引き続き会議を開催していく。
						73人	68人	57人	68人	未確定	人口10万人対率							
						17.9	16.4	13.7	16	未確定								
保健福祉部 社会福祉課	千葉県地域自殺対策強化事業費補助金事業	普及啓発・相談事業・人材育成・遺族支援・こころの健康づくり・医療連携の各事業を柱として、一次予防(事前予防)・二次予防(危機対応)・三次予防(事後対応)の観点から対策を実施	庁内関係部局、医師会、民生委員児童委員協議会、柏警察署、千葉大学、柏商工会議所、柏労働基準監督署、柏市社会福祉協議会等	①なし ②なし	自殺者の減少	○	○	○	○	○	○	自殺者数					平成30年度は、相談窓口案内の冊子作成・配付、無料相談事業、自殺予防ゲートキーパー養成研修、自死遺族支援事業を実施。課題となっている若年層向け自殺予防対策として、映画上映会を実施し、一層の啓発に努めた。令和元年度は、対面相談事業や自死遺族支援事業、啓発事業の他にも、新たに認知行動療法サポーター養成講座、大学と連携した自殺対策フォーラム等を実施する。	令和元年度に引き続き事業を実施していく。
						73人	68人	57人	68人	未確定	人口10万人対率							
						17.9	16.4	13.7	16	未確定								
保健所 保健予防課	本人・家族の相談・訪問支援等(*)	<こころの健康相談>精神科嘱託医や職員によるこころの健康に関する相談。	—	①なし ②なし	精神的な問題を抱えた本人や家族を支援し、生活の質の向上を目指す。	○	○	○	○	○	精神科医による相談数(回数)					精神科嘱託医や職員によるこころの健康相談を実施し、関係機関や連携を図りながら本人や家族の支援を行った。相談件数が増加しており、安全で迅速な対応ができるよう関係機関等との調整を図り、体制づくりを行っていく。	継続	
						H26	H27	H28	H29	H30								
						48件	46件	54件	55件	46件								
						1,288件	1,357件	1,636件	1,800件	1,549件	職員による面談や訪問(延数)							
											電話相談							
						7,248件	6,660件	7,570件	8,235件	7,529件								

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②H30年度新規連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成30年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び令和元年度の取り組みについて	令和2年度の方向性
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期			
保健所 地域保健課	啓発事業 (*)	地域サロン等を中心とした健康教育や各イベントの中で運動、食、タバコ等健康に関する啓発および地域支援を実施。一般市民を対象とし、幅広いテーマについての啓発を行う。	庁内関係各課 柏市民健康づくり推進員 各種団体及び企業関係	①なし ②なし	幅広いライフステージの市民を対象にポピュレーションアプローチをすることで、健康に関する気づきの場を作る。							依頼の健康教育実施者数(全数) H26 H27 H28 H29 H30 - - 2,298人 2,169人 758人	地域サロンを中心とした依頼の健康教育が主となるが、日ごろの地域活動を生かし、多くの依頼があるよう周知・啓発を行う。依頼のテーマだけでなく、運動やタバコなど健康に関する内容を付加し実施していく。	引き続き、健康教育や啓発等を実施し、地域における健康づくりを推進する。
保健所 地域保健課	妊娠届出受理と母子健康手帳交付事業	妊娠届出受理時、専門職が面談をして、こころの健康チェックを実施。気分の落ち込みや不安の有無を確認し、早期に支援を開始する。	庁内関係各課 産科医療機関等	①なし ②なし	妊娠や出産への不安が高い方や、うつ病の疑いのある方に対し、早期発見・早期支援ができる。							母子健康手帳交付状況 H26 H27 H28 H29 H30 3,551人 3,414人 3,315人 3,303人 32,131人 母子健康手帳交付時の専門職の面談率 - - 47.6% 73.0% 100% H29.10月より、専門職による全数面接の体制を整えた	妊娠届出受理時、専門職が全数面談にてこころの健康チェックを実施し、こころの問題を抱えている方に対し、早期に支援を開始した。平成30年度届出時に把握したこころの問題等を抱える方は、前年度より2.5倍増(153人)にのぼり、相談支援体制の整備が課題である。令和元年は、全数面談にて早期把握・支援を継続するとともに、関係機関との連携(特に産科医療機関と精神科医療機関)を図り、相談支援体制を強化していく。	こころの問題を抱える方の早期把握・支援・関係機関との連携強化
保健所 地域保健課	乳児家庭全戸訪問事業	市内の乳児がいる全家庭を訪問。生後3ヶ月までに保健師・助産師が新生児訪問を実施し、育児支援チェックリスト・産後うつ等の早期発見のスクリーニング指標(EPDS)・赤ちゃんへの気持ち質問票(ボンディング)を用いて、育児ストレスが高いと思われる方への訪問等の継続支援を実施。	庁内関係各課 医療機関等(産科、小児科、精神科等)	①なし ②なし	育児ストレスが高いと思われる方や、医療の必要な産後うつ病の疑いのある方に対し、早期発見・早期支援ができる。							乳児家庭全戸訪問事業実施者数 H26 H27 H28 H29 H30 2,330人 2,609人 3,006人 3,344人 3,295人 乳児家庭全戸訪問事業面談率 - - 85.4% 95.7% 95.3% H28年度より、妊産婦・新生児訪問とこころには赤ちゃん訪問を統合し、乳児家庭全戸訪問事業を開始した。※H25～27は新生児訪問として希望者のみに実施していた。	生後3ヶ月までに保健師・助産師が新生児訪問を実施した方2,481人のうち、産後うつ等の早期発見のスクリーニング指標(EPDS)高値75人には、継続訪問にて育児支援を行った。産後2か月前後の里帰り等により、新生児訪問の74%は乳児期での訪問となっているため、早期発見・早期支援につなげることが課題。令和元年は、新生児訪問周知を継続し、早期訪問を目指すとともに、相談支援体制を強化していく。	・新生児訪問の早期実施 ・育児ストレスが高いと思われる方の早期把握・支援 ・関係機関との連携強化

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②H30年度新規連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)					平成30年度取り組みの成果、今後の課題と 考察及び令和元年度の取り組みについて	令和2年度の方向性			
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期										
保健所 健康増進課	健康づくり普及啓発事業 (※)	イベント等の中で運動、食、タバコ等健康に関する啓発を実施。一般市民を対象とし、幅広いテーマについての啓発を行う。	庁内関係各課 各種団体及び企業関係	①なし ②なし	幅広いライフステージの市民を対象にポピュレーションアプローチをすることで、健康に関する気づきの場を作る。							啓発実施者数(全数)					H30年度は、メンタルヘルスに関連するリーフレット等を配布し、啓発を行った。令和元年度も引き続き、関係部署と連携を図り休養、心の健康を含めた内容の啓発を実施していく。	増進計画の目標達成に近づける内容の啓発を行っていく。			
												H26	H27	H28	H29	H30					
												6,109人	5,235人	4,869人	1,872人	2,657人			※H28年度までは、柏市民健康づくり推進員の活動を含む		
												啓発実施者数(休養・こころの健康)									
												500人	-	-	-	807人			※H28年度までは、柏市民健康づくり推進員の活動を含む		
保健所 健康増進課	地域・職域連携推進事業 (*)	・柏地域・職域連携推進協議会 ・事業所向けの健康情報等のメール配信 ・啓発リーフレットの配布 ・事業所向け講習会	柏労働基準監督署/柏労働基準協会/柏商工会議所/柏市沼南商工会/代表企業(2社)/東葛北部地域産業保健センター/全国健康保険協会千葉支部/柏市医師会/柏歯科医師会	①健康づくりに取り組む事業所(3社) ②柏労働基準協会	働く世代の生活習慣病予防とこころの健康づくりの推進 社員の健康づくりに積極的に取り組む事業所の増加							メール配信登録事業所数					・30年度は年間11回のメール配信を行う中で、こころの健康づくりや睡眠に関する情報を配信。健康づくりに取り組む事業所紹介は3社実施。引き続きメール配信の周知を行い、登録事業所の増加を図る。 ・食生活、運動、こころの健康、禁煙、歯・口腔の健康、健(検)診や各種相談窓口の情報をまとめたリーフレットを作成し、事業所等に配布。 ・H30年度より、協議会の参加団体として柏労働基準協会が加わった。事業所への情報発信や講習会の共催など連携を図り、効果的な事業展開につなげていく。	働く世代の健康づくり、職場での健康づくりの推進につながる配信内容、啓発方法の検討			
												H26	H27	H28	H29	H30					
												13社	13社	27社	36社	47社					
												講習会参加事業所数									
												-	8社	15社	29社	52社					
学校教育 部 児童生徒課	不登校児童生徒の支援事業	市内の小中学校で、何らかの要因による不登校状態の児童生徒を対象に行う支援事業。本人の自立を促すとともに、学校復帰を目指すため、学習支援や訪問活動を行っている。	-	①(株)市進	不登校児童生徒の減少							適応指導教室学習相談入室入級者数					成果としては、入級入室者数が増え、多くの児童生徒が利用することができ、学校復帰や部分復帰、進学につながることができた。また、教育相談も電話、来室・訪問ともに件数が増え、より多くの保護者の要望に応じたり、対応したりすることができた。 課題としては、利用者が増加することで施設や設備、消耗品などの不足が見られた。また、学校と保護者や学校と学習相談室等の連携がとれず、学校復帰が困難になることがあった。 今年度の取組としては、学校訪問だけでなく、学校から学習相談室への訪問や学習課題等の連絡を密に行い、学校と保護者、学習相談室の連携を図る。	不登校児童生徒の人数が増加していることと、学校以外の場所での学習活動が周知されていることから、学習相談室や適応指導教室の利用者数も増加することが見込まれる。施設や設備の補充や、指導員の配置を検討する。また、学習の遅れを取り戻すためにITを使った学習活動を取り入れ、学校と連携しながら児童生徒の学習の機会を確保する。			
												H26	H27	H28	H29	H30					
												-	70人	63人	75人	81人					
												教育相談件数(電話)									
												-	2,616件	2,944件	2,673件	2,785件					
												教育相談件数(来室・訪問等)									
												-	790件	881件	605件	856件					
												教育相談件数(家庭訪問)									
						-	987件	781件	802件	574件											

4. 喫煙

(1) 喫煙・受動喫煙が及ぼす健康影響に関する知識の普及																			
① 喫煙率の減少																			
② 喫煙・受動喫煙が及ぼす健康影響に関する認識をもつ成人の割合の増加																			
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②H30年度新規 連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成30年度取り組みの成果、今後の課題と考 察及び令和元年度の取り組みについて	令和2年度の方向性					
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期								
保健所 健康増 進課	タバコ対策	<ul style="list-style-type: none"> ・柏ノースモツ子作戦協議会会議 ・柏ノースモツ子作戦出張講座 ・乳幼児保護者向けリーフレット作成 ※禁煙補助剤体験事業(H29年度で終了)	<ul style="list-style-type: none"> ・柏市医師会 ・柏歯科医師会 ・柏市薬剤師会 ・タバコ問題を考える会・千葉 ・柏商工会議所 ・柏市私立柏市私立幼稚園協会 ・柏市PTA連絡協議会 ・柏市民健康づくり推進員連絡協議会 ・柏市民生委員児童委員協議会 ・柏市小中学校校長会 ・柏市小中学校養護教諭 ・環境サービスク ・地域保健課 ・保育運営課 ・学校保健課 ・少年補導センター 	①なし ②なし	<ul style="list-style-type: none"> ・禁煙をする市民が増える ・喫煙する市民が減る ・学校の周囲で喫煙する大人が減る ・タバコの害や受動喫煙について正しい認識を持つ大人の増加 							禁煙補助剤体験者数 H26 H27 H28 H29 H30 64人 115人 119人 44人 -	柏ノースモツ子作戦協議会を年2回開催。各連携団体と課題・情報共有を行った。 令和元年度も2回の協議会を開催予定。 禁煙補助剤体験事業については、体験者数が減ったことや経過に関するアンケートの結果、禁煙が長期的な継続に至らないなどを理由に平成29年度をもって事業を廃止した。 柏ノースモツ子作戦出張講座については、11校での実施となったが、実施がない学校でのたばこに関する教育の実態を調査すると、同内容・類似内容を別の方法(薬物乱用防止教室や保健体育の授業内)で行っていることが分かった。 当事業の実施業況をもって、たばこに関する教育の実施として考えることに疑義が生じているため、「たばこに関する教育の実施状況」を個別に調査を行う。 乳幼児保護者向けリーフレットについては、デザインの刷新を行った。	柏ノースモツ子作戦協議会については、各委員独自・自主的な活動を促進するため、年1回の開催とする。					
						出張講座実施校数						18校			16校	14校	11校	12校	
						健康教育・啓発実施者数(全数)													H26 H27 H28 H29 H30 - - 2,298人 2,169人 758人
						妊娠届出時の周知													- - - - 1,161人
保健所 地域保 健課	啓発事業 (*)	地域サロン等を中心とした健康教育や各イベントの中で運動、食、タバコ等健康に関する啓発および地域支援を実施。一般市民を対象とし、幅広いテーマについての啓発を行う。 妊娠届出時に妊婦と家族に対して個別に周知を行う。	庁内関係各課 柏市民健康づくり推進員 各種団体及び企業関係	①なし ②なし	幅広いライフステージの市民を対象にポピュレーションアプローチをすることで健康に関する気づきの場を作る。						健康教育・啓発実施者数(全数) H26 H27 H28 H29 H30 - - 2,298人 2,169人 758人 妊娠届出時の周知 - - - - 1,161人	地域サロンを中心とした依頼の健康教育が主となるが、日ごろの地域活動を生かし、多くの依頼があるよう周知・啓発を行う。 依頼のテーマだけでなく、運動やタバコなど健康に関する内容を付加し実施していく。 当課事業で接する市民に対し、喫煙が及ぼす健康影響に関して啓発していく。	引き続き、健康教育や啓発等を実施し、地域における健康づくりを推進する。						

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②H30年度新規 連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成30年度取り組みの成果、今後の課題と考 察及び令和元年度の取り組みについて	令和2年度の方向性									
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期												
保健所 健康増 進課	健康づくり 普及啓発事 業 (※)	イベント等の中で運動、 食、タバコ等健康に関 する啓発を実施。一般 市民を対象とし、幅広 いテーマについての啓 発を行う。	庁内関係各課 各種団体及び企 業関係	①モラージュ柏 第一生命 ②なし	幅広いライフス テージの市民を 対象にポピュ レーションア プローチをす ること、健康に関 する気づきの場を 作る。							啓発実施者数(全数)					各イベントでリーフレットを配布し、啓 発を実施。また柏市調理師会を通じて市 内飲食店に啓発物の配架を依頼した。 令和元年度も引き続きリーフレットによ る啓発を行うとともに、受動喫煙防止 キャンペーンの実施等を検討していく。 また令和元年度より第一生命との協定 により、啓発チラシの配布を依頼して おり、喫煙関係についても広く周知、啓 発していく予定。	増進計画の目標達成に 近づける内容の啓発を 行っていく。					
												H26	H27	H28	H29	H30			6,109人	5,235人	4,869人	1,872人	2,657人
												※H29年度～ 柏市民健康づくり推進員活動については別掲											
												啓発実施者数(喫煙)											
												1,681人	50人	900人	1,450人	1,047人			※H29年度～ 柏市民健康づくり推進員活動については別掲				
												依頼の健康教育参加者数(講師:保健師)											
						-	-	-	-	95人	※H30年度～健康増進課として計上												
保健所 健康増 進課	地域・職域 連携推進事 業 (*)	・柏地域・職域連携推 進協議会 ・事業所向けの健康情 報等のメール配信 ・啓発リーフレットの配 布 ・事業所向け講習会	柏労働基準監督 署/柏労働基準協 会/柏商工会議所 /柏市沼南商工会 /代表企業(2社)/ 東葛北部地域産 業保健センター/ 全国健康保険協 会千葉支部/柏市 医師会/柏歯科医 師会	①健康づくりに 取り組む事業所 (3社) ②柏労働基準協 会	働く世代の生活 習慣病予防とこ ころの健康づく りの推進 社員の健康づく りに積極的に取 り組む事業所の 増加							メール配信登録事業所数					・30年度は年間11回のメール配信を行 う中で、タバコの害や禁煙支援に関す る情報を配信。健康づくりに取り組む事 業所紹介は3社実施。引き続きメール 配信の周知を行い、登録事業所の増 加を図る。 ・食生活、適正飲酒、運動、こころの健 康、禁煙、歯・口腔の健康、健(検)診や 各種相談窓口の情報をまとめたリーフ レットを作成し、事業所等に配布。 ・H30年度より、協議会の参加団体と して柏労働基準協会が加わった。事業所 への情報発信や講習会の共催など連 携を図り、効果的な事業展開につな げていく。	働く世代の健康づくり、 職場での健康づくりの推 進につながる配信内 容、啓発方法の検討					
												H26	H27	H28	H29	H30			13社	13社	27社	36社	47社
												講習会参加事業所数											
												-	8社	15社	29社	52社							

(2)受動喫煙の防止																		
③受動喫煙の機会を有する人の割合の減少																		
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②H30年度新規 連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成30年度取り組みの成果、今後の課題と考 察及び令和元年度の取り組みについて	令和2年度の方向性				
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期							
保健所 健康増 進課	タバコ対策 (※)	<ul style="list-style-type: none"> ・柏ノースモツ子作戦協 議会 ・柏ノースモツ子作戦出 張講座 ・禁煙・分煙ありがとう 店登録店制度 ・乳幼児保護者向け リーフレットの作成、配 布 ・「たばこの煙困りまし たカード」の設置 ・受動喫煙防止キャン ペーン 	<ul style="list-style-type: none"> ・柏市医師会 ・柏歯科医師会 ・柏市薬剤師会 ・タバコ問題を考 える会・千葉 ・柏商工会議所 ・柏市私立柏市私 立幼稚園協会 ・柏市PTA連絡協 議会 ・柏市民健康づく り推進員連絡協議 会 ・柏市民生委員児 童委員協議会 ・柏市小中学校校 長会 ・柏市小中学校養 護教諭 ・環境サービス課 ・地域保健課 ・保育運営課 ・学校保健課 ・少年補導セン ター ・千葉県 	①なし ②柏市保健所管 内調理師会	受動喫煙による 健康被害の減 少	○	○	○	○	○	○	禁煙分煙ありがとう店登録店						
												H26	H27	H28	H29	H30	柏ノースモツ子作戦協議会について は、2回実施し、相互連携や情報共有 を実施した。 ありがとう店登録店数は減少している が、平成30年7月に健康増進法が改正 されるなど受動喫煙に関する関心は高 く、自主的に受動喫煙対策を行ってい る店舗も多い。 令和元年度については、令和2年度か ら始まる改正健康増進法に関する周知 を徹底し、市内の飲食店・事業所等 での受動喫煙防止を目指す。喫煙が可 能である旨の表示に関しては義務化さ れるが、禁煙である旨をPRし、店内の 禁煙を実施する飲食店等の支援をする ような事業を検討する。	令和2年4月1日から改 正健康増進法が全面施 行となり、飲食店・事業 所等で望まない受動喫 煙が生じないよう原則屋 内禁煙や喫煙ができる 旨の表示義務等を遵守 させる。また、市民等か らの通報への対応を行 う。
												171店	93店	64店	65店	51店		
保健所 地域保 健課	啓発事業 (*)	<p>地域サロン等を中心と した健康教育や各イベ ントの中で運動、食、タバ コ等健康に関する啓発 および地域支援を実 施。一般市民を対象と し、幅広いテーマにつ いての啓発を行う。</p> <p>幼児健診にて保護者 に対し、個別に周知を行 う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 庁内関係各課 柏市民健康づくり 推進員 各種団体及び企 業関係 	①なし ②なし	幅広いライフ ステージの市民を 対象にポピュ レーションア プローチをす ること、健康に関 する気づきの場を 作る。	○	○	○	○	○	○	依頼の健康教育実施者数(全数)					引き続き、健康教育や 啓発等を実施し、地域 における健康づくりを推 進する。	
												H26	H27	H28	H29	H30		地域サロンを中心とした依頼の健康 教育が主となるが、日ごろの地域活動 を生かし、多くの依頼があるよう周知・啓 発を行う。 依頼のテーマだけでなく、運動やタバ コなど健康に関する内容を付加し実施 していく。 当課事業で接する市民に対し、受動喫 煙防止を周知していく。
												-	-	2,298人	2,169人	758人		
												幼児健診での周知						
												-	-	-	-	2,255人		

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②H30年度新規 連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成30年度取り組みの成果、今後の課題と考 察及び令和元年度の取り組みについて	令和2年度の方向性								
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期											
保健所 健康増 進課	健康づくり 普及啓発事 業 (*)	イベント、健康教育の中 で運動、食、タバコ等健 康に関する啓発を実 施。一般市民を対象と し、幅広いテーマにつ いての啓発を行う。	庁内関係各課 各種団体及び企 業関係	①モラージュ柏 第一生命 ②なし	幅広いライフス テージの市民を 対象にポピュ レーションア プローチをす ること、健康に関 する気づきの場を 作る。							啓発実施者数(全数)					各イベントでリーフレット等を配布し、啓 発を実施。また柏市調理師会を通じて 市内飲食店に啓発物の配架を依頼し た。 令和元年度も引き続きリーフレット等 による啓発を行うとともに、受動喫煙防 止キャンペーンの実施等を検討して いく。 また令和元年度より第一生命との協 定により、啓発チラシの配布を依頼 しており、喫煙関係についても広く周 知、啓発して行く予定。	増進計画の目標達成に 近づける内容の啓発を 行っていく。				
															H26	H27			H28	H29	H30	
																6,109人			5,235人	4,869人	1,872人	2,657人
																※H28年度までは、柏市民健康づくり推進員の活 動を含む						
																啓発実施者数(喫煙)						
																1,681人			50人	900人	1,450人	717人
																※H28年度までは、柏市民健康づくり推進員の活 動を含む						
										依頼の健康教育参加者数(講師:保健師)												
										-	-	-	-	95人								
										※H30年度~健康増進課として計上												
保健所 健康増 進課	地域・職域 連携推進事 業 (*)	・柏地域・職域連携推 進協議会 ・事業所向けの健康情 報等のメール配信 ・啓発リーフレットの配 布 ・事業所向け講習会	柏労働基準監督 署/柏労働基準協 会/柏商工会議所 /柏市沼南商工会 /代表企業(2社)/ 東葛北部地域産 業保健センター/ 全国健康保険協 会千葉支部/柏市 医師会/柏歯科医 師会	①健康づくりに 取り組む事業所 (3社) ②柏労働基準協 会	働く世代の生活 習慣病予防とこ ころの健康づく りの推進 社員の健康づく りに積極的に取 り組む事業所の 増加							メール配信登録事業所数					・30年度は年間11回のメール配信を行 う中で、タバコの害や禁煙支援、改正 健康増進法に関する情報を配信。健康 づくりに取り組む事業所紹介は3社実 施。引き続きメール配信の周知を行 い、登録事業所の増加を図る。 ・食生活、適正飲酒、運動、こころの健 康、禁煙、歯・口腔の健康、健(検)診や 各種相談窓口の情報をまとめたリーフ レットを作成し、事業所等に配布。 ・H30年度より、協議会の参加団体とし て柏労働基準協会が加わった。事業所 への情報発信や講習会の共催など連 携を図り、効果的な事業展開につな げていく。 ・改正健康増進法の全面施行に向け、 職域団体と連携し、事業所への受動喫 煙対策の周知啓発を進める。	働く世代の健康づくり、 職場での健康づくりの推 進につながる配信内 容、啓発方法の検討				
																13社			13社	27社	36社	47社
																講習会参加事業所数						
																-			8社	15社	29社	52社
環境部 環境 サービ ス課	ぼい捨て等 防止事業	啓発看板・路面シール・ 横断幕の設置等の啓 発を行い、路上喫煙等 防止を推進し、ぼい捨 てごみを減少させる。	防災安全課	①なし ②防災安全課	ぼい捨てごみ、 路上喫煙・歩行 喫煙者の減少。							過料徴収件数					平成30年度よりシルバー人材セン ターからパトロール補助員を雇用。パト ロール班が2班になった結果、過料徴 収件数が増加した。 群馬県甘楽町による行政視察に対応 し、柏市における路上喫煙対策につ いて紹介した。 今後は、健康増進法改正やオリ ンピック開催に伴う、たばこ及び電子た ばこの取り扱いについて、国や他市の動 向に注視しながら業務を行っていく。	市内各駅周辺におけ るぼい捨てごみ減少と その啓発に係る経費削 減。 効果的な啓発及びパ トロールの継続。				
																169件			275件	155件	108件	297件

(3)禁煙の支援																		
④禁煙達成率																		
⑤成人の禁煙外来における保険適用に関する認知率																		
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②H30年度新規 連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成30年度取り組みの成果、今後の課題と考 察及び令和元年度の取り組みについて	令和2年度の方向性				
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期							
保健所 健康増 進課	タバコ対策 (※)	・禁煙外来実施医療機 関の周知 ・柏市国保特定健診受 診者へ啓発 ・禁煙補助剤体験事業 (平成29年度で終 了)	・柏市医師会 ・保険年金課 ・柏市薬剤師会	①なし ②なし	・禁煙する市民 が増える ・身近な医療機 関で保険による 禁煙指導が受 けられることが できる							禁煙補助剤体験者数					禁煙補助剤体験事業については、体験 者数が減ったことや経過に関するアン ケートの結果、禁煙が長期的な継続に 至らないなどを理由に平成29年度を もって事業廃止。 禁煙外来については、HPで公開すると ともに、市内禁煙支援薬局とともに市 内分布マップで紹介をする。 また、柏市国保特定健診受診者に配 布する情報提供紙「かしわ健康づくり 通信」に市内禁煙外来一覧を掲載。 今年度も継続し、周知を行う。	増進計画の目標達成に 近づける内容の啓発を 行っていく。
												H26	H27	H28	H29	H30		
												64人	115人	119人	44人	-		
												市内禁煙外来実施医療機関数						
												26件	33件	29件	29件	31件		

(4) 未成年者の喫煙防止														
⑥ 喫煙経験率														
⑦ 喫煙願望率														
⑧ 周囲で喫煙する大人の存在率														
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②H30年度新規 連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成30年度取り組みの成果、今後の課題と考 察及び令和元年度の取り組みについて	令和2年度の方向性
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期			
保健所 健康増 進課	タバコ対策 (※)	・柏ノースモツ子作戦出張講座実施 ・柏ノースモツ子新聞発行 ・小中学校タバコに関するアンケート	・市立小中学校 ・学校保健課 ・柏市薬剤師会 ・タバコ問題を考える会・千葉	①なし ②なし	・小中学生の喫煙経験率が減る ・小中学生の「タバコがかっこいいと思う」割合が減る ・タバコの害について正しく知ることができる							出張講座実施校数 H26 H27 H28 H29 H30 18校 16校 14校 11校 12校	柏ノースモツ子作戦出張講座として、たばこに関する教育を行っている学校数は減少傾向にあったが、平成30年度に実態調査を行ったところ、保健体育の授業や薬物乱用防止教室として等、たばこに関する教育を実施していることが分かった。事業は継続して行いが、他の教育手段とも連携して実施・知識の定着を図りたい。	平成29年度の比較調査を行うため、全校調査を小学6年生及び中学3年生に対して実施する。
		・柏ノースモツ子作戦出張講座実施 ・柏ノースモツ子新聞発行 ・小中学校タバコに関するアンケート ・乳幼児保護者向けリーフレットの作成、配布	・市立小中学校 ・学校保健課 ・柏市私立幼稚園協会 ・保育運営課 ・地域保健課	①なし ②なし	・タバコの害について正しく知る大人が増える ・禁煙する大人が増える								出張講座実施校数 H26 H27 H28 H29 H30 18校 16校 14校 11校 12校 周囲で喫煙する大人の存在率(小学6年生) 62.7% - - 62.8% - 周囲で喫煙する大人の存在率(中学3年生) 60.1% - - 58.1% - ※市内全校アンケート(追跡調査につき3年に1度の実施)結果	柏ノースモツ子作戦出張講座は、授業参観等保護者が聴講する機会での実施を検討していただいている。柏ノースモツ子新聞については、平成30年度に活用に関する調査を行った結果、改善が必要であったため、内容等を見直し、令和元年度5月に作成し、配布を行った。保護者からも多くの反響があった。5歳児クラスを対象に、市内幼稚園・保育園でサードハンドスモークに関する啓発チラシを配布。また、妊娠届出時に本人・同居親族に喫煙者がいる際に啓発チラシを渡すよう地域保健課と連携を行っている。
保健所 健康増 進課	健康づくり 普及啓発事業 (*)	イベント、健康教育等の中で運動、食、タバコ等健康に関する啓発を実施。一般市民を対象とし、幅広いテーマについての啓発を行う。	庁内関係各課 各種団体及び企業関係	①モラージュ柏 第一生命 ②なし	幅広いライフステージの市民を対象にポピュレーションアプローチをすることで、健康に関する気づきの場を作る。							啓発実施者数(全数) H26 H27 H28 H29 H30 6,109人 5,235人 4,869人 1,872人 2,657人 ※H28年度までは、柏市民健康づくり推進員の活動を含む 啓発実施者数(喫煙) 1,681人 50人 900人 1,450人 717人 ※H28年度までは、柏市民健康づくり推進員の活動を含む 依頼の健康教育参加者数(保健師) - - - - 95人 ※H30年度～健康増進課として計上	各イベントでリーフレットを配布し、啓発を実施。また柏市調理師会を通じて市内飲食店に啓発物の配架を依頼した。令和元年度も引き続きリーフレットによる啓発を行うとともに、受動喫煙防止キャンペーンの実施等を検討していく。また令和元年度より第一生命との協定により、啓発チラシの配布を依頼しており、喫煙関係についても広く周知、啓発していく予定。	増進計画の目標達成に近づける内容の啓発を行っていく。

5. 飲酒

(1)過度の飲酒が及ぼす健康影響及び適度な飲酒に関する知識の普及																				
①「生活習慣病のリスクを高める飲酒量」の認識率の増加																				
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②H30年度新規 連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成30年度取り組みの成果、今後の課題と 考察及び令和元年度の取り組みについて	令和2年度の方向性						
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期									
保健所 地域保健課	啓発事業 (*)	地域サロン等を中心とした健康教育や各イベントの中で運動、食、タバコ等健康に関する啓発および地域支援を実施。一般市民を対象とし、幅広いテーマについての啓発を行う。	庁内関係各課 柏市民健康づくり推進員 各種団体及び企業関係	①なし ②なし	幅広いライフステージの市民を対象にポピュレーションアプローチをすることで、健康に関する気づきの場を作る。							健康教育・啓発実施者数(全数)	地域サロンを中心とした依頼の健康教育が主となるが、日ごろの地域活動を生かし、多くの依頼があるよう周知・啓発を行う。 依頼のテーマだけでなく、運動や飲酒など健康に関する内容を付加し実施していく。 当課事業で接する市民に対し、飲酒が及ぼす健康影響を啓発していく。	引き続き、健康教育や啓発等を実施し、地域における健康づくりを推進する。						
												H26			H27	H28	H29	H30		
						-	-	2,298人	2,169人	758人										
保健所 健康増進課	健康づくり普及啓発事業 (※)	イベント、健康教育等の中で運動、食、タバコ等健康に関する啓発を実施。一般市民を対象とし、幅広いテーマについての啓発を行う。	庁内関係各課 各種団体及び企業関係	①なし ②なし	幅広いライフステージの市民を対象にポピュレーションアプローチをすることで、健康に関する気づきの場を作る。							啓発実施者数(全数)	未成年飲酒防止に関する啓発は実施できず。 令和元年度は関係部署と連携を図り、実施していく。	増進計画の目標達成に近づける内容の啓発を行っていく。						
												H26			H27	H28	H29	H30		
												6,109人			5,235人	4,869人	1,872人	2,657人		
						※H28年度までは、柏市民健康づくり推進員の活動を含む														
						啓発実施者数(飲酒)														
												-			580人	1,200人	800人	-		
						※H28年度までは、柏市民健康づくり推進員の活動を含む														
依頼の健康教育参加者数(講師:保健師)																				
						H26	H27	H28	H29	H30										
						-	-	-	-	95人										
※H30年度～健康増進課として計上																				
保健所 健康増進課	地域・職域連携推進事業 (*)	・柏地域・職域連携推進協議会 ・事業所向けの健康情報等のメール配信 ・啓発リーフレットの配布 ・事業所向け講習会	柏労働基準監督署/柏労働基準協会/柏商工会議所/柏市沼南商工会/代表企業(2社)/東葛北部地域産業保健センター/全国健康保険協会千葉支部/柏市医師会/柏歯科医師会	①健康づくりに取り組む事業所(3社) ②柏労働基準協会	働く世代の生活習慣病予防とこころの健康づくりの推進 社員の健康づくりに積極的に取り組む事業所の増加							メール配信登録事業所数	・30年度は健康情報等のメール配信を年間11回実施。健康づくりに取り組む事業所紹介は3社実施。引き続きメール配信の周知を行い、登録事業所の増加を図る。 ・食生活、適正飲酒、運動、こころの健康、禁煙、歯・口腔の健康、健(検)診や各種相談窓口の情報をまとめたリーフレットを作成し、事業所等に配布。 ・H30年度より、協議会の参加団体として柏労働基準協会が加わった。事業所への情報発信や講習会の共催など連携を図り、効果的な事業展開につなげていく。	働く世代の健康づくり、職場での健康づくりの推進につながる配信内容、啓発方法の検討						
												H26			H27	H28	H29	H30		
												13社			13社	27社	36社	47社		
						講習会参加事業所数														
												-			8社	15社	29社	52社		

(2)健康被害のリスクを高める飲酒習慣の防止																			
②毎日飲酒・多量飲酒する人の割合の減少																			
③妊婦の飲酒率の減少																			
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②H30年度新規 連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成30年度取り組みの成果, 今後の課題と 考察及び令和元年度の取り組みについて	令和2年度の方向性					
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期								
保健所 保健予 防課	本人・家族 の相談・訪 問支援等 (※)	<p>〈アルコール相談〉 精神科医師や職員によるアルコールに関する相談。</p> <p>〈アルコール家族教室〉 アルコール問題を抱える家族を対象に、講義やミーティングをとおして依存症の理解を図り、家族の健康度を高める。</p> <p>〈酒害教室〉 アルコール依存者や家族を対象に、ミーティングを通して、酒害や自助グループの効果を学び、アルコール依存からの回復を図る。</p> <p>〈HAPPYプログラム 個別・集団〉 アルコール減酒のためのプログラムを実施し、適正飲酒を目指す。</p>	柏断酒新生会	①なし ②なし	より多くの市民がアルコール依存症や関連問題について学習し、依存症や家族の回復を図ることができる。							アルコール相談 精神科医による相談延数	<p>アルコール関連の問題は本人だけでなく周囲への影響も大きく、早めの介入ができることが望ましい。アルコール問題早期介入として、個別と集団で減酒プログラム「HAPPYプログラム」を実施し、そのフォローアップも実施した。今年度は集団プログラムは日曜開催し、市民の利便性よい会場で実施予定。特定健診等でアルコールによる健康障害の啓発やAUDIT(飲酒習慣スクリーニング)を実施した。酒害についてや自助グループの効果等を広く伝え、必要なかが相談や教室等につながるよう、周知に努めていく。アルコール・デイケアクラブは、H29年度終了。</p>	継続					
												H26			H27	H28	H29	H30	
												11件			11件	12件	12件	14件	
																			アルコール相談 職員による面談や訪問延数
												106件			184件	228件	191件	135件	
																			アルコール・デイケアクラブ 参加者延数
												118人			60人	77人			
																			アルコール家族教室 参加者延数
											71人	81人	79人	110人	69人				
															酒害教室参加者延数				
															233人	246人	181人	200人	183人

(3) 未成年者の飲酒防止

④ 未成年者の飲酒経験率の減少

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②H30年度新規 連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)					平成30年度取り組みの成果、今後の課題と 考察及び令和元年度の取り組みについて	令和2年度の方向性					
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期	H26	H27	H28	H29	H30							
保健所 健康増 進課	健康づくり普 及啓発事業 (*)	イベント、健康教育等 の中で運動、食、タバコ等健 康に関する啓発を実施。 一般市民を対象とし、幅 広いテーマについての啓 発を行う。	庁内関係各課 各種団体及び 企業関係	①なし ②なし	幅広いライフス テージの市民を 対象にポピュ レーションア プローチをす ること、健康に 関する気づきの場 を作る。							啓発実施者数(全数)					未成年飲酒防止に関する啓発は実 施できず。 令和元年度は関係部署と連携を図 り、実施していく。	増進計画の目標達成 に近づける内容の啓 発を行っていく。					
																H26			H27	H28	H29	H30	
												6,109人	5,235人	4,869人	1,872人	2,657人							
						※H28年度までは、柏市民健康づくり推進員の活 動を含む																	
						啓発実施者数(飲酒)																	
												-	580人	1,200人	800人	-							
						※H28年度までは、柏市民健康づくり推進員の活 動を含む																	
依頼の健康教育参加者数(講師:保健師)																							
											H26	H27	H28	H29	H30								
											-	-	-	-	95人								
※H30年度～健康増進課として計上																							

6. 歯・口腔の健康

(1) 歯・口腔の健康づくりに関する知識の普及																	
①3歳児でむし歯がない人の割合の増加																	
②12歳児のDMF歯数の減少																	
③歯肉炎を有する(歯周疾患要観察者を含む)人の割合の減少																	
④40歳で喪失歯のない人の割合の増加																	
⑤進行した歯肉炎(CPI指数3以上)を有する人の割合の減少																	
⑥60歳代における咀嚼く良好者の割合の増加																	
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②H30年度新規 連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成30年度取り組みの成果、今後の課題と 考察及び令和元年度の取り組みについて	令和2年度の方向性			
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期						
保健所 地域保 健課	子育て支援 事業 (母と子のつ どい、8か月 児相談)	<p><母と子のつどい> 妊婦、1歳6か月児くらい までの乳幼児と保護者を 対象に、市内20地域で 実施</p> <p><8か月児相談> 8か月児の乳児へ個別案 内にて実施。各専門職が グループワークや個別相 談を行う。</p> <p>内容: 歯・口腔に関する ワンポイント啓発、歯科 相談</p>	<p><母と子のつ どい> 柏市民健康 づくり推進員</p>	<p>①なし ②なし</p>	<p>・甘味食品や飲 料を習慣化する 児の割合の減 少 ・歯みがき(仕 上みがき)の習 慣化 ・かかりつけ歯 科医を持っている 割合の増加</p>	○				△	つどい参加者数(歯科の回のみ)					<p>昨年度より、母と子のつどいの実施 主体が柏市民健康づくり推進員にな り、歯・口腔の健康については、活動 のなかで地域からの依頼に応じて対 応。 H30年度より新規で8か月児相談事 業を個別通知にて実施。約67%の参 加があり広く啓発できた。引き続き、 乳児と保護者の口腔ケアについて啓 発する</p>	引き続き実施
											H26	H27	H28	H29	H30		
											6,189人	6,600人	5,762人	5,473人	213人		
											8か月児相談参加者数						
											H26	H27	H28	H29	H30		
-	-	-	-	2,231人													
保健所 地域保 健課	2歳の歯☆ ピカランド及 びフッ化物 歯面塗布事 業	<p><歯☆ピカ> 2歳児の親子を対象に食 生活を含むむし歯予防 の啓発及び歯みがき指 導</p> <p><フッ化物> 2.6歳対象に医療機関に てフッ化物歯面塗布によ るむし歯予防事業(無料 受診券全対象者郵送)</p>	<p>柏歯科医師 会 柏市医師会</p>	<p>①なし ②なし</p>	<p>・フッ化物配合 歯みがき剤の 利用率の増加 ・かかりつけ歯 科医を持つ者の 増加 ・定期健診を受 ける者の増加</p>	○				△	3歳児健診受診状況					<p>・受診しやすい環境整備の一環とし て、周知時期を早めたが、受診率増 加にはつながらなかった。今年度、 案内ハガキを圧着にし、2か月分の 案内と、2歳児の保護者へ伝えたい 啓発内容を加えた。</p> <p>・歯☆ピカランド受診率42.8%でやや 減少、フッ化物歯面塗布事業受診率 46.8%で横ばいである。引き続き、 受診率増加につながるよう周知方法や 啓発内容について検討していく。</p> <p>・歯☆ピカランドにおけるフッ化物配 合歯みがき剤の使用率は83.1%と横 ばいである。</p> <p>・3歳児健診における健歯者率の増 加が見られている。引き続き切れ目 のない歯・口腔の健康づくり支援を 行っていく。</p>	引き続き各事業へ の参加を促す啓発内 容・方法を検討し、受 診率向上につなげ る。
											H26	H27	H28	H29	H30		
											3,699人	3,566人	3,674人	3,535人	3,851人		
											対象者数						
											歯科受診者数						
											3,292人	3,231人	3,313人	3,221人	3,453人		
											健歯者率						
81.0%	80.5%	83.7%	85.4%	86.9%													

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②H30年度新規 連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成30年度取り組みの成果、今後の課題と 考察及び令和元年度の取り組みについて	令和2年度の方向性																									
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期																												
保健所 地域保健課	母子歯科保健事業「歯っぴいかむカムかしわっ子作戦！！」	<p><地域における依頼の健康教育> 子育て支援センター、地域サロンにおいて、「育児講座」として地域の乳幼児をもつ保護者を対象にむし歯予防の啓発及び歯みがき指導<幼稚園・保育園等での歯みがき指導> 保育園、幼稚園の園児を対象に食生活を含むむし歯予防の啓発及び歯みがき指導 依頼に応じて、保護者へもむし歯予防の啓発を実施</p>	<p>保育運営課 公立保育園 私立保育園 私立幼稚園 柏歯科医師会</p>	<p>①なし ②なし</p>	<p>・歯みがき(仕上げがき)の習慣化 ・かかりつけ歯科医を持つ者の増加 ・定期健診を受ける者の増加</p>	○				△		<p>依頼の健康教育(母子)実施件数</p> <table border="1"> <tr> <td>H26</td><td>H27</td><td>H28</td><td>H29</td><td>H30</td> </tr> <tr> <td>8件</td><td>6件</td><td>9件</td><td>5件</td><td>4件</td> </tr> </table> <p>実施者数</p> <table border="1"> <tr> <td>193人</td><td>137人</td><td>260人</td><td>97人</td><td>124人</td> </tr> </table> <p>巡回歯みがき指導実施園数</p> <table border="1"> <tr> <td>39園</td><td>37園</td><td>40園</td><td>41園</td><td>47園</td> </tr> </table> <p>巡回歯みがき指導実施者数</p> <table border="1"> <tr> <td>3,056人</td><td>3,062人</td><td>2,822人</td><td>2,553人</td><td>2,696人</td> </tr> </table>	H26	H27	H28	H29	H30	8件	6件	9件	5件	4件	193人	137人	260人	97人	124人	39園	37園	40園	41園	47園	3,056人	3,062人	2,822人	2,553人	2,696人	<p>・毎年新規園も含め実施園数が増加している。各園においてむし歯予防を意識した昼食後の歯みがき習慣のきっかけづくりにもつながっている。 ・しかし、今後マンパワーの問題や、園の中での継続した歯みがき習慣が大切であるため、各園で取り組めるよう「歯みがき指導マニュアル」を配布した。 ・令和元年度については、事業整理しターゲットを年中・年長とし、新規園を優先とした。30園限定とする。 ・保育運営課と連携し、指導者育成の研修会を開催する。</p>	<p>・市内の園児へ広く啓発が出来るようになる ・引き続き、依頼の健康教育を実施しつつ、指導者育成のための取り組みも行う。</p>
		H26	H27	H28	H29	H30																																	
8件	6件	9件	5件	4件																																			
193人	137人	260人	97人	124人																																			
39園	37園	40園	41園	47園																																			
3,056人	3,062人	2,822人	2,553人	2,696人																																			
<p>小学校、中学校の児童、生徒を対象に食生活を含むむし歯、歯周病予防の啓発及び歯みがき指導 依頼に応じて、保護者へもむし歯、歯周病予防の啓発を実施</p>	<p>学校保健課 小学校 中学校 柏歯科医師会</p>	<p>①なし ②なし</p>	<p>・給食後の歯みがき習慣の徹底 ・食後の歯みがき習慣の徹底 ・フッ化物配合歯みがき剤の利用率の増加 ・定期健診を受ける者の増加</p>	○					△	<p>実施校数(他学年の依頼校)</p> <table border="1"> <tr> <td>H26</td><td>H27</td><td>H28</td><td>H29</td><td>H30</td> </tr> <tr> <td>33校</td><td>31校</td><td>31校</td><td>31校</td><td>32校</td> </tr> </table> <p>他学年依頼の健康教育実施者数</p> <table border="1"> <tr> <td>2,916人</td><td>3,116人</td><td>2,619人</td><td>2,774人</td><td>2,917人</td> </tr> </table> <p>12歳児の健歯者率</p> <table border="1"> <tr> <td>51.4%</td><td>61.9%</td><td>59.4%</td><td>65.8%</td><td>64.1%</td> </tr> </table> <p>12歳児のDMF歯数</p> <table border="1"> <tr> <td>1.19本</td><td>0.84本</td><td>0.99本</td><td>0.71本</td><td>0.89本</td> </tr> </table>	H26	H27	H28	H29	H30	33校	31校	31校	31校	32校	2,916人	3,116人	2,619人	2,774人	2,917人	51.4%	61.9%	59.4%	65.8%	64.1%	1.19本	0.84本	0.99本	0.71本	0.89本	<p>・毎年、市内全小学校の1年生に対するむし歯予防啓発を行うことで、学校・学校歯科医と連携しやすい環境が整っている。引き続き3者で連携を図りながら、支援を行っていく。 ・他学年については、各学校の依頼に合わせて対応していたが、むし歯が増加する中学年と歯周病予防が必要な高学年をターゲットとする。 ・6月や11月の啓発月間を利用し、課題の学年にむけた啓発を行う。</p>	<p>・引き続き、学校、学校歯科医、児童、生徒、保護者に対し、保健所より適切な情報発信を行うことで、歯・口腔の健康づくりにつなげる。 ・課題に合わせ、ターゲットにむけた啓発を強化する。</p>		
H26	H27	H28	H29	H30																																			
33校	31校	31校	31校	32校																																			
2,916人	3,116人	2,619人	2,774人	2,917人																																			
51.4%	61.9%	59.4%	65.8%	64.1%																																			
1.19本	0.84本	0.99本	0.71本	0.89本																																			
保健所 地域保健課	啓発事業(※)	<p>イベント等の中で運動、食・タバコ等健康に関する啓発を実施。一般市民を対象とし、幅広いテーマについての啓発を行う。</p>	<p>庁内関係各課 柏市民健康づくり推進員 各種団体及び企業関係</p>	<p>①なし ②なし</p>	<p>幅広いライフステージの市民を対象にポピュレーションアプローチをすることで、健康に関する気づきの場を作る。</p>	○	○	○	○	<p>啓発実施者数(全数)</p> <table border="1"> <tr> <td>H26</td><td>H27</td><td>H28</td><td>H29</td><td>H30</td> </tr> <tr> <td>6,109人</td><td>5,235人</td><td>4,869人</td><td>3,979人</td><td>3,705人</td> </tr> </table> <p>啓発実施者数(歯・口腔の健康)</p> <table border="1"> <tr> <td>150人</td><td>1,801人</td><td>2,156人</td><td>952人</td><td>146人</td> </tr> </table>	H26	H27	H28	H29	H30	6,109人	5,235人	4,869人	3,979人	3,705人	150人	1,801人	2,156人	952人	146人	<p>歯や口腔に関するリーフレットを作成し、伝えたいことに的を絞って実施した。また、他課及び関係機関と連携をし、それぞれの場を生かした啓発を行った。 令和元年度も同様に行っていく。</p>	<p>同様に実施</p>												
H26	H27	H28	H29	H30																																			
6,109人	5,235人	4,869人	3,979人	3,705人																																			
150人	1,801人	2,156人	952人	146人																																			

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②H30年度新規 連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成30年度取り組みの成果、今後の課題と 考察及び令和元年度の取り組みについて	令和2年度の方向性			
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期						
保健所 健康増進課	健康づくり普及啓発事業 (※)	イベント、健康教育等の中で運動、食、タバコ等健康に関する啓発を実施。一般市民を対象とし、幅広いテーマについての啓発を行う。	庁内関係各課 各種団体及び企業関係	①モラージュ柏 第一生命 ②なし	幅広いライフステージの市民を対象にポピュレーションアプローチをすることで、健康に関する気づきの場を作る。							啓発実施者数(全数)	歯科検診推進や口腔ケア等に関するリーフレットを作成し、啓発を実施。令和元年度も引き続き実施予定。また令和元年度より第一生命との協定により、啓発チラシの配布を依頼しており、歯科関係についても広く周知、啓発していく予定。	増進計画の目標達成に近づける内容の啓発を行っていく。			
						H26	H27	H28	H29	H30	6,109人	5,235人			4,869人	1,872人	2,657人
						※H28年度までは、柏市民健康づくり推進員の活動を含む					啓発実施者数(歯・口腔の健康)						
						150人	1,801人	2,156人	350人	515人	※H28年度までは、柏市民健康づくり推進員の活動を含む						
						依頼の健康教育参加者数(講師:歯科衛生士)					H26	H27			H28	H29	H30
						-	-	-	-	45人	※H30年度～健康増進課として計上						
保健所 健康増進課	地域・職域 連携推進事業 (*)	・柏地域・職域連携推進協議会 ・事業所向けの健康情報等のメール配信 ・啓発リーフレットの配布 ・事業所向け講習会	柏労働基準監督署/柏労働基準協会/柏商工会議所/柏市沼南商工会/代表企業(2社)/東葛北部地域産業保健センター/全国健康保険協会千葉支部/柏市医師会/柏歯科医師会	①健康づくりに取り組む事業所(3社) ②柏労働基準協会	働く世代の生活習慣病予防とこころの健康づくりの推進 社員の健康づくりに積極的に取り組む事業所の増加							メール配信登録事業所数	・30年度は年間11回のメール配信を行う中で、歯、口腔の健康に関する情報を配信。健康づくりに取り組む事業所紹介は3社実施。引き続きメール配信の周知を行い、登録事業所の増加を図る。 ・食生活、適正飲酒、運動、こころの健康、禁煙、歯・口腔の健康、健(検)診や各種相談窓口の情報をまとめたリーフレットを作成し、事業所等に配布。 ・H30年度より、協議会の参加団体として柏労働基準協会が加わった。事業所への情報発信や講習会の共催など連携を図り、効果的な事業展開につなげていく。	働く世代の健康づくり、職場での健康づくりの推進につながる配信内容、啓発方法の検討			
						H26	H27	H28	H29	H30	13社	13社			27社	36社	47社
						講習会参加事業所数					-	8社			15社	29社	52社
学校教育部 学校保健課	健康診断事業	<定期歯科健診> 学校医による、全校児童生徒のう歯・歯肉・歯列等の健診 <歯みがき指導> 保健所歯科衛生士による全小学校1年生を対象とした歯みがき指導(学校保健課で日程・人数調整)	学校歯科医 保健所	①なし ②なし	12歳児のDMF歯数の減少 歯肉炎を有する人の割合の減少							定期歯科健診状況	定期健康診断を各校で4～6月に実施。CO(要観察歯)、GO(歯周疾患要観察者)に関して、秋冬の継続健診を実施している学校もある(19/62校)。 歯みがき指導に関しても各学校が積極的な取り組みを図っているところであり、小学1年生以外の学年も希望により保健所歯科衛生士による歯みがき指導を実施している(小学校:25/42校)(中学校:3/20校)。学校歯科医による指導も小学校6校、中学校1校で実施している。	柏歯科医師会では、学校歯科医が研修会等を実施している。現在、学校歯科医マニュアル第3版まで改訂され、それに基づき、各校で健診が実施されている。目標値達成に向け、保健所歯科衛生士、学校歯科医、養護教諭の連携強化の働きかけを図る。			
						H26	H27	H28	H29	H30	受診者数						
						3,326人	3,273人	3,268人	3,244人	3,171人	12歳児のDMF歯数						
						1.19本	0.84本	0.99本	0.71本	0.89本							

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②H30年度新規 連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成30年度取り組みの成果、今後の課題と 考察及び令和元年度の取り組みについて	令和2年度の方向性				
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期							
保健所 健康増 進課	歯周病検診 事業	対象者(満30, 40, 50, 60歳)に個人通知を行い、委託医療機関にて歯周ポケット測定等の歯周疾患検診を実施する。	柏歯科医師会	①なし ②なし	30・40歳における喪失歯のない人の割合増加 30・40歳の進行した歯肉炎を有する人の割合減少								平成30年度は受診率向上を目指し、SNS等を活用した事業周知を実施したところ、若干ではあるが受診率が増加した。 今年度はさらなる向上を目指し、受診券に委託医療機関を掲載し、受診しやすい環境づくりを推進している。	無意識に健口になる環境づくりの一環として、薬局やコンビニエンスストアの歯科関連グッズ販売場所に保健所で作成した名刺サイズの啓発媒体を設置し、無関心層へのアプローチの強化を図る。				
						喪失歯のない人の割合(30歳)						H26			H27	H28	H29	H30
						85.6%	84.7%	88.9%	80.3%	95.3%	喪失歯のない人の割合(40歳)							
						73.3%	72.3%	75.2%	73.2%	91.7%	進行した歯肉炎(CPI指数3以上)を有する人の割合(30歳)							
						55.4%	54.0%	57.3%	52.9%	32.6%	進行した歯肉炎(CPI指数3以上)を有する人の割合(40歳)							
						58.0%	60.1%	62.9%	61.3%	38.6%								
保健福祉部 地域医療推進課	訪問口腔衛生指導事業補助金	・訪問口腔衛生指導の実施 ・医療機関(病院・歯科医院等)との連絡調整 ・一般市民への啓発事業 ・地域包括支援センター、介護保険事業者等の従事者説明及び講演会の実施等への補助事業	柏歯科医師会	①なし ②なし	・在宅療養者が治療及び口腔ケアを受けることにより、口腔機能を維持し、生活の質の向上を図る。 ・市民が、在宅療養状態になっても、安心して歯科治療を受けられることができる環境整備。								訪問調査や口腔ケア、在宅における緩和ケアの一環としての口腔ケアの提供により、在宅療養者のQOL向上に寄与している。また摂食嚥下の指導により、誤嚥性肺炎の予防につながっている。	引き続き、多職種連携の中で訪問口腔衛生指導事業の推進を図る				
						訪問口腔衛生指導(訪問口腔ケア)を実施した方の口腔機能向上						H26			H27	H28	H29	H30
						80%	80%	80%	75%	80%								

(2) 定期的な歯科健康診査の受診動向																																										
⑦ 過去1年間に歯科健康診査を受診した人の割合(成人)の増加																																										
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②H30年度新規 連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成30年度取り組みの成果、今後の課題と 考察及び令和元年度の取り組みについて	令和2年度の方向性																												
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期																															
保健福祉部 地域医療推進課	特殊歯科診療事業支援事業	一般的な診療が難しい障害児・者、高齢者等に診療を行う特殊歯科診療所の運営に対し補助金を交付	柏市医療公社 柏歯科医師会	①なし ②なし	一般診療が難しい方本人及び家族の負担軽減。生活の質向上	○	○	○	○	○	○	患者数	歯科衛生士等の従事者の増加に伴い、前年度に対して患者数が増加した。必要な人が適切な医療が受けられるような体制づくり、人材育成を進めていく。	障害者歯科保健・医療の取り組みとして、必要な人が適切な医療が受けられる体制を確保していく。																												
						H26					H27					H28					H29					H30																
						3,241人					3,822人					4,194人					4,049人					4,233人																
保健所健康増進課	歯周病検診事業(※)	対象者(満30, 40, 50, 60歳)に個人通知を行い、委託医療機関にて歯周ポケット測定等の歯周疾患検診を実施する。	柏歯科医師会	①なし ②なし	過去1年間に歯科健康診査を受診した人の割合増加	△	△	○	○	過去1年間に歯科健康診査を受診した人の割合(成人)					平成30年度は受診率向上を目指し、SNS等を活用した事業周知を実施したところ、若干ではあるが受診率が増加した。今年度はさらなる向上を目指し、受診券に委託医療機関を掲載し、受診しやすい環境づくりを推進している。	無意識に健口になる環境づくりの一環として、薬局やコンビニエンスストアの歯科関連グッズ販売場所に保健所で作成した名刺サイズの啓発媒体を設置し、無関心層へのアプローチの強化を図る。																										
						H26					H27						H28					H29					H30															
						24.4%					23.0%						29.3%					28.8%					29.9%															
						30歳											18.8%					23.3%					25.8%					28.3%					27.0%					
						40歳											23.7%					31.1%					31.1%					28.4%					27.1%					
						50歳											19.6%					24.6%					28.1%					23.0%					30.1%					
						60歳											35.2%					35.8%					31.8%					36.6%					37.4%					

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②H30年度新規 連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成30年度取り組みの成果、今後の課題と 考察及び令和元年度の取り組みについて	令和2年度の方向性
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期			
保健所 健康増 進課	健康かむか む運動補助 金	柏歯科医師会が主催する 地域歯科保健医療啓 発の一環。 ・各種コンクール実施、 表彰 ・口腔がん検診 ・市民向け口腔啓発企画 等への補助事業	柏歯科医師 会 教育委員会	※ 健康かむかむ 運動の活動の中 で柏歯科医師会 が連携した団体 ・日大松戸歯学部 ・東葛北部技工士 会 ・グラクソスミスク リンコンシュー マーヘルスケア ジャパン株式会社 ・(株)松風 ・(株)ビーブラン ド・メディコーデン タル ・(株)ケーオーデ ンタル ・モラージュ柏	歯や口腔の健 康づくりに関心 を持ち、主体的 に取り組む市民 が増える。	○	○	○	△	△	○	口腔衛生大会参加者数 H26 H27 H28 H29 H30 928人 1,289人 1,903人 2,568人 1,342人	より身近な地域での歯科医師による 啓発活動を継続して実施しており、 歯科医師会として定着した活動と なっている。 今年度は歯や口に関する啓発につ いては、当会と保健所が連携し、お 互いの特性を生かした効果的な取り 組みができるようこれまで以上に戦 略的に活動をしていく。	関係機関等と連携を 強化し、効果的及び 継続的な啓発活動を 実施していく。
保健所 健康増 進課	かしわ歯科 相談室	歯・口腔の健康に関して、 歯科医師・歯科衛生士が 個別の相談に応じ、必要 な指導及び助言を行う。	柏歯科医師 会	①なし ②なし	歯・口腔の健康 に関する不安の 軽減	○	○	○	○	○	○	かしわ歯科相談室利用者数 H26 H27 H28 H29 H30 77人 78人 74人 119人 75人	治療内容についてセカンドオピニ オンとして活用するケースが増加して いる。また、平成29年度来所者が増 加した8月の矯正歯科相談日は歯科 医師会主催の矯正歯科相談や地域 の矯正歯科の紹介等を実施し、相談 歯科医師に見合った来所者数であっ た。 今年度も歯科医師会と情報共有しな がら、対策を講じていく。	保健所の専門的な相 談機能のひとつとし て、利用者のニーズ に応じた対応を歯科 医師会と情報交換及 び共有しながら進め ていく。

(3) 歯・口腔の健康づくりのための環境整備																			
⑧ 歯や口の状態に関する満足度(成人)																			
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②H30年度新規 連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成30年度取り組みの成果、今後の課題と 考察及び令和元年度の取り組みについて	令和2年度の方向性					
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期								
保健所 健康増 進課	歯周病検診 事業 (※)	対象者(満30, 40, 50, 60歳)に個人通知を行い、委託医療機関にて歯周ポケット測定等の歯周疾患検診を実施する。	柏歯科医師会	①なし ②なし	歯や口の状態に満足している人の割合増加	△	△	○	○	口腔内の満足度についてほぼ満足している人の割合					平成30年度は受診率向上を目指し、SNS等を活用した事業周知を実施したところ、若干ではあるが受診率が増加した。 今年度はさらなる向上を目指し、受診券に委託医療機関を掲載し、受診しやすい環境づくりを推進している。	無意識に健口になる環境づくりの一環として、薬局やコンビニエンスストアの歯科関連グッズ販売場所に保健所で作成した名刺サイズの啓発媒体を設置し、無関心層へのアプローチの強化を図る。			
						H26 H27 H28 H29 H30					全体								
						32.0%	32.1%	33.8%	31.4%	32.9%	30歳								
						27.7%	32.3%	35.1%	27.8%	30.2%	40歳								
						34.5%	31.4%	32.7%	31.0%	35.3%	50歳								
						28.6%	31.0%	31.4%	32.2%	35.6%	60歳								
						35.2%	34.2%	36.3%	36.0%	28.9%									
						かしわ歯科相談室利用者数											治療内容についてセカンドオピニオンとして活用するケースが増加している。また、平成29年度来所者が増加した8月の矯正歯科相談日は歯科医師会主催の矯正歯科相談や地域の矯正歯科の紹介等を実施し、相談歯科医師に見合った来所者数であった。 今年度も歯科医師会と情報共有しながら、対策を講じていく。		
						H26 H27 H28 H29 H30													
						77人	78人	74人	119人	75人									
保健所 健康増 進課	かしわ歯科 相談室 (*)	歯・口腔の健康に関して、歯科医師・歯科衛生士が個別の相談に応じ、必要な指導及び助言を行う。	柏歯科医師会	①なし ②なし	歯・口腔の健康に関する不安の軽減	○	○	○	○	○	○		保健所の専門的な相談機能のひとつとして、利用者のニーズに応じた対応を歯科医師会と情報交換及び共有しながら進めていく。						

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②H30年度新規 連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成30年度取り組みの成果、今後の課題と 考察及び令和元年度の取り組みについて	令和2年度の方向性												
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期															
保健福祉部 福祉政策課	柏フレイル 予防プロジェクト2025 (*)	「フレイル(虚弱)」という 概念を新たに取り入れ、 市民、関係団体、学識経 験者、市による「推進委 員会」を設置・運営しな がら、健康づくり事業の 効果的な運動と地域を 基盤とした市民主体の活 動を推進	医師会、歯科 医師会、薬剤 師会、東京大 学、ふるさと 協議会、社会 福祉協議会、 民生委員児 童委員、柏市 民健康づくり 推進員、ス ポーツ推進委 員、東葛北部 栄養士会、リ ハビリテー ション連絡 会、地域包括 支援センター など	①イオン株式会 社、JR東日本 ②イオン株式会 社、JR東日本、 柏市生涯現役促 進業議会	市民の意識・行 動変容(栄養、 身体活動、社会 参加の促進)								推進委員会実施回数	平成30年度は、市内全域でのフレ イルチェックの展開とともに、柏駅東口 における横断幕・フラッグの掲示や民 間事業者(イオン)と協力の周知啓 発イベントの実施など、幅広く普及啓 発活動を実施した。 今後は、市民のフレイル予防活動の 受け皿となる健康づくり、スポーツ、 食等、フレイル予防に資する事業所 管部局とも連動して、引き続き、柏フ レイル予防プロジェクトの推進に取り 組む。	フレイル予防の普及・ 啓発と効果的な促 進、地域における市 民主体の活動の促 進、フレイル予防に係 る関係機関の連携・ 運動を推し進めフレ イル予防によるまちづ りの実現を目指して いく。											
																H26	H27	H28	H29	H30	—	1回	3回	3回	2回	
保健福祉部 地域包括支援 課	フレイル予 防事業 (※)	主に高齢者に対するフレ イル(介護予防)事業の うち、口腔機能や嚥下を テーマとしたプログラム について、歯科医師、歯 科衛生士、言語聴覚士 等が講座を行う。	柏歯科医師 会、柏歯科介 護センター、 柏市在宅リハ ビリテーション 連絡会、地域 包括支援セン ターなど	①なし ②なし	市民の意識・行 動変容(口腔機 能の改善)								フレイル予防講座(口腔)の参加者数	介護予防センターに出前講座の受付 を委託したところ、多くの申請をいた だくことができた。 地域包括支援センターの講座では、 他の講座と併せて、口腔の啓発を実 施しており、参加者数を延ばす事が 出来た。 令和元年度は、引き続き多くの方に 利用していただけるよう周知すると ともに、フレイルチェックの中等度リス ク者の受け皿とする体制を作りたい。	同様に取り組む予定 である。											
																H26	H27	H28	H29	H30	—	—	378人	249人	81人	
																				介護予防センター主催の教室						
																					フレイル予防出前講座					
市民生 活部 保険年 金課	お口のク リーニ ング事 業	18歳以上の国保加入者 と後期高齢者を対象に、 保健事業利用券を活用 した歯の付着物の除去、 健康相談、衛生指導等	柏歯科医師 会	①なし ②なし	歯・口腔の健康 状態の改善、生 活習慣病の予 防								お口のクリーニング利用者数	保健事業利用助成事業のメニューの 一つとして、保健事業利用券(1枚 1,000円相当)を活用した歯科保健事 業を実施した。保健事業利用助成事 業の利用者は年々増加しており、そ のうち、お口のクリーニングの利用者 の割合も増加している。 令和元年度も引き続き実施する。	継続実施していく。											

7. 糖尿病

(1)若い世代からの糖尿病の発症予防と重症化予防																	
①糖尿病の指摘を受けた人の割合の減少																	
②メタボリックシンドローム[内臓脂肪症候群]の該当者及び予備群該当者の割合(40歳以上)の減少																	
③ヘモグロビンA1cが6.1%(NGSP値6.5%)以上の人の割合の減少																	
④じん臓機能障害による身体障害者手帳1級所持者数の減少																	
⑤糖尿病医療費(国民健康保険 1月あたりの総点数)の減少																	
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②H30年度新規 連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ					実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成30年度取り組みの成果、今後の課題と考察 及び令和元年度の取り組みについて	令和2年度の方向性				
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期				高齢期			
市民生活部 保険年金課	柏市国民健康保険特定健康診査・特定保健指導	<p><特定健康診査> 40歳以上の柏市国保加入者を対象に、生活習慣病予防を目的とした健診を実施。</p> <p><特定保健指導> 特定健診の結果よりメタボリックシンドロームのリスクのある対象者を抽出し、6ヵ月間の生活習慣改善のための特定保健指導を実施。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・柏市医師会 ・ちば県民保健予防財団 ・人間ドック、脳ドック実施医療機関 ・JA(ちば東葛、東葛ふたば、いちかわ) ・千葉県厚生農業共同組合連合会 ・沼南商工会 ・柏商工会議所 	①DPPヘルスパートナーズ ②千葉県国保連合会	生活習慣病の発症及び重症化の予防						特定健康診査受診率(法定報告)	<p>●健診結果が受診勧奨値以上等、市が定めた基準に該当した者で、レセプト情報より医療機関の受診が確認できない者に対し、勧奨通知や電話等による受診勧奨を実施した。</p> <p>●特にメタボリックシンドローム該当者が年々増加しており、特定保健指導の実施率向上が必要な状況となっている。そのため利用勧奨通知の送付に加え、国保連の支援も受け、保健師等の専門職による電話での個別の利用勧奨を実施したことで、特定保健指導の実施率の向上させることができた。</p> <p>●特定健診・特定保健指導の実施率の向上と生活習慣病の予防及び重症化の予防を推進するため、柏市医師会や専門医等との連携による取組として「柏市特定健診等保健事業検討会」や「糖尿病性腎症重症化予防対策検討会」を実施した。</p> <p>●平成29年から実施している「糖尿病性腎症重症化予防プログラム」(委託)について、平成29年度参加者の評価と併せて、平成30年度も実施した。</p> <p>さらに厚生労働省科学研究「糖尿病性腎症重症化予防プログラムの効果検証と重症化予防の更なる展開を目指した研究」に参加し、事業の評価検証につなげた。</p> <p>令和元年度は、メタボリックシンドローム該当者及び予備群が年々増加してしまっていることに対し、特定健診・特定保健指導の更なる実施率の向上が必要となることから、「人工知能(AI)を活用した受診率向上」の取組を実施する。</p> <p>また平成30年度事業の見直しを行い、地域のかかりつけ医や専門医等との連携のもと、より効果的・効率的な実施方法として、柏市医師会に委託して新たな方法で「糖尿病性腎症重症化予防事業」を実施する。具体的には、当該プログラムの実施が可能となる糖尿病専門医及び糖尿病看護認定看護師がいて糖尿病センター等の専門外来等の機能を有する柏市立柏病院、慈恵医大柏病院を実施医療機関として推薦してもらい、柏市立柏病院を中心として「糖尿病性腎症重症化予防プログラム」を実施する。</p> <p>さらに生活習慣病重症化のためには、医療機関受診が必要な状態であるのに受診していない未受診者や治療中断者に対する受診勧奨を実施する。</p>	「柏市国民健康保険第2期保健事業実施計画(データヘルス計画)」、「柏市国民健康保険第3期特定健診等実施計画」の計画期間の中間年となることから、中間評価を実施する。				
						H26	H27	H28	H29	H30	40.8%			42.0%	42.3%	42.4%	11月1日以降確定
						特定保健指導実施率(法定報告)					15.0%			20.1%	21.4%	23.0%	同上
						メタボリックシンドローム該当者の割合(法定報告)					男性 24.2%			25.4%	26.1%	27.4%	同上
											女性 7.3%			7.6%	7.8%	8.3%	同上
						メタボリックシンドローム予備群の割合(法定報告)					男性 17.3%			17.3%	17.4%	17.3%	同上
											女性 6.2%			6.0%	6.1%	5.8%	同上
						ヘモグロビンA1cが6.1%(NGSP値で6.5%)以上の人の割合(年度報告)					7.7%			7.7%	7.9%	7.9%	8.3%

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②H30年度新規 連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成30年度取り組みの成果、今後の課題と考察 及び令和元年度の取り組みについて	令和2年度の方向性				
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期							
市民生活部 保険年金課	国保 保健 事業利用費 助成事業 (18歳から39 歳の健診)	18歳以上の柏市国保被 保険者に対し、申請に基 づき保健事業利用券を 年間8枚交付(1枚1,000 円相当)。18歳から39歳 の健診事業、はり等施術 事業、お口のクリーニン グ事業に利用できる。18 歳から39歳の健診事業 は26年度からの新規事 業。受診希望者に対し受 診券を発行し、特定健診 と同様の健診を実施す る。	柏市医師会	①なし ②なし	被保険者の健康の保持増進 若い世代からの生活習慣病 予防							18歳から39歳の健診実施状況	平成30年度は健診受診の習慣化及び生活 習慣病の早期発見、早期治療による 重症化の予防を目的に「ブレ特定健診」 として、利用勧奨を35歳から39歳までに 拡大し、2回受診勧奨を実施した。 結果、健診受診者数は大幅に増加した。 令和元年度も引き続き、35歳から39歳ま での国保被保険者に対し、利用勧奨を 実施する。 また生活習慣の改善を要する方に対し、 保健指導を実施する。	「柏市国民健康保険 第2期保健事業実施 計画(データヘルス計 画)」,「柏市国民健康 保険第3期特定健診 等実施計画」の計画 期間の中間年となる ことから、中間評価を 実施する。				
												H26			H27	H28	H29	H30
						受診券発行数						72人			83人	237人	218人	479人
						受診者数						42人			53人	158人	138人	291人
保健所 健康増 進課	柏市健康診 査 (無保険者)	40歳以上で、無保険の 生活保護受給者を対象 に、特定健診と同内容の 健診を指定医療機関に て実施。 対象者に個別通知、希 望者は申し込み。	生活支援課 柏市医師会	①なし ②なし	内臓脂肪症候 群の予防、罹 患している病 状の安定や重 症化予防への 行動が取れる ようにする。							受診者数	生活保護法改正に伴い、令和3年より健康 管理支援事業が施行される。生活支 援課が行う健康管理支援事業の目標に 沿いながら、当健康診査の在り方や実施 方法について、生活支援課と連携し検討 していく。	生活支援課が行う健康 管理支援事業に関 して計画を立て準備 する。				
												210人			224人	239人	278人	321人
保健所 健康増 進課	柏市地域栄 養相談シス テム	生活習慣病等で治療中 の市民が、かかりつけ医 の紹介により、市内の病 院で管理栄養士の栄養 指導が受けられるシス テム。かかりつけ医での治 療及び適切な食事療法 を継続し、生活習慣病の 重症化予防を図る。	柏市医師会 病院栄養士協 議会(柏地区)	①なし ②なし	内臓脂肪症候 群の予防、罹 患している病 状の安定や重 症化予防への 行動が取れる ようにする。							利用者数(延べ数)	平成30年度の延べ利用者は184人と平成 29年度を下回ったが、実人数は125人 →137人と伸びている。 このシステムを利用しているクリニックが 固定化してきていることも課題となってい る。 令和元年度は、このシステムの利用促進 を図るために、利用の手引きを作成配布 した。また周知方法等、病院栄養士協議 会と検討していく。 また、行動変容のステージモデルを活用 し、指導をした方の行動変容を評価し、こ の事業の評価につなげたい。	令和元年に利用促進 のために作成した手 引き、周知用リーフ レットの利用方法、利 用率等を調査し、ク リニックにおいてより活 用しやすいように工 夫をしていく。 指導した方の行動変 容を評価し、指導内 容を継続させるため の手立てを考えてい く。				
												109人			98人	225人	214人	184人

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②H30年度新規 連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成30年度取り組みの成果、今後の課題と考察 及び令和元年度の取り組みについて	令和2年度の方向性									
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期												
保健所 健康増 進課	健康づくり普 及啓発事業 (※)	イベント、健康教育等 の中で運動、食、タバコ等健 康に関する啓発を実施。 一般市民を対象とし、幅 広いテーマについての啓 発を行う。	庁内関係各課 各種団体及び 企業関係	①モラージュ柏 第一生命 ②なし	幅広いライフ ステージの市 民を対象にポ ピュレーション アプローチを することで、健 康に関する気 づきの場を作 る。							啓発実施者数(全数)					平成30年度は、主に保健師による健康 教育において、予防啓発を実施した。令 和元年度も引き続き実施予定。 また令和元年度より第一生命との協定に より、啓発チラシの配布を依頼しており、 循環器疾患を含む生活習慣病について も広く周知、啓発していく予定。	増進計画の目標達成 に近づける内容の啓 発を行っていく。					
												H26	H27	H28	H29	H30							
												6,109人	5,235人	4,869人	1,872人	2,657人			※H28年度までは、柏市民健康づくり推進員の活 動を含む				
												依頼の健康教育参加者数(講師:保健師)											
												-	-	-	-	95人			※H30年度～健康増進課として計上				
保健所 健康増 進課	地域・職域 連携推進事 業 (*)	・柏地域・職域連携推進 協議会 ・事業所向けの健康情報 等のメール配信 ・啓発リーフレットの配布 ・事業所向け講習会	柏労働基準監 督署/柏労働基 準協会/柏商工 会議所/柏市沼 南商工会/代表 企業(2社)/東葛 北部地域産業 保健センター/ 全国健康保険 協会千葉支部/ 柏市医師会/柏 歯科医師会	①健康づくりに 取り組む事業 所 (3社) ②柏労働基準 協会	働く世代の生 活習慣病予防 とこころの健 康づくりの推 進 社員の健康づ くり積極的に 取り組む事 業所の増加							メール配信登録事業所数					・30年度は年間11回のメール配信を行う 中で、生活習慣病予防に関する情報を配 信。健康づくりに取り組む事業所紹介は3 社実施。引き続きメール配信の周知を行 い、登録事業所の増加を図る。 ・食生活、適正飲酒、運動、こころの健 康、禁煙、歯・口腔の健康、健(検)診や各 種相談窓口の情報をまとめたリーフレット を作成し、事業所等に配布。 ・H30年度より、協議会の参加団体として 柏労働基準協会が加わった。事業所へ の情報発信や講習会の共催など連携を 図り、効果的な事業展開につなげていく。	働く世代の健康づく り、職場での健康づく りの推進につながる 配信内容、啓発方法 の検討					
												H26	H27	H28	H29	H30							
												13社	13社	27社	36社	47社							
												講習会参加事業所数											
												-	8社	15社	29社	52社							

(2) 定期的な健康診査の受診																			
⑥ 柏市国民健康保険特定健康診査の受診率(法定報告)の増加																			
⑦ 柏市国民健康保険特定保健指導の実施率(法定報告)の増加																			
⑧ 糖尿病の指摘を受けたが、放置している人の割合の減少																			
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②H30年度新規 連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ					実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成30年度取り組みの成果、今後の課題と考察 及び令和元年度の取り組みについて	令和2年度の方向性						
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期				高齢期					
市民生活部 保険年金課	柏市国民健康保険特定健康診査・特定保健指導 (*)	<p><特定健康診査> 40歳以上の柏市国保加入者を対象に、生活習慣病予防を目的とした健診を実施。</p> <p><特定保健指導> 特定健診の結果よりメタボリックシンドロームのリスクのある対象者を抽出し、6ヵ月間の生活習慣改善のための特定保健指導を実施。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・柏市医師会 ・ちば県民保健予防財団 ・人間ドック、脳ドック実施医療機関 ・JA(ちば東葛、東葛ふたば、いちかわ) ・千葉県厚生農業共同組合連合会 ・沼南商工会 ・柏商工会議所 	①DPPヘルスパートナーズ ②千葉県国保連合会	生活習慣病の発症及び重症化の予防							特定健康診査受診率(法定報告)	<p>特定健診受診率向上のため、年代・性別等を踏まえた、対象者の特性に応じた受診勧奨を実施した。</p> <p>また特定保健指導対象者への利用勧奨通知の発送及び電話にて保健師や管理栄養士等が利用勧奨を実施したことにより、特定保健指導利用者は増加した。</p> <p>令和元年度は、特定健診受診率向上対策として「人工知能(AI)を活用した特定健診受診勧奨事業」に新規に取り組む予定。</p>	「柏市国民健康保険第2期保健事業実施計画(データヘルス計画)」、「柏市国民健康保険第3期特定健診等実施計画」の計画期間の中間年となることから、中間評価を実施する。					
												H26			H27	H28	H29	H30	
												40.8%			42.0%	42.3%	42.4%	11月1日以降確定	
												特定保健指導実施率(法定報告)							
												15.0%			20.1%	21.4%	23.0%	同上	
												メタボリックシンドローム該当者の割合(法定報告)							
												男性			24.2%	25.4%	26.1%	27.4%	同上
												女性			7.3%	7.6%	7.8%	8.3%	同上
												メタボリックシンドローム予備群の割合(法定報告)							
												男性			17.3%	17.3%	17.4%	17.3%	同上
						女性	6.2%	6.0%	6.1%	5.8%	同上								
						ヘモグロビンA1cが6.1%(NGSP値で6.5%以上)の人の割合(年度報告)													
						7.7%	7.7%	7.9%	7.9%	8.3%									
市民生活部 保険年金課	国保 保健事業利用費助成事業 (18歳から39歳の健診) (*)	18歳以上の柏市国保被保険者に対し、申請に基づき保健事業利用券を年間8枚交付(1枚1,000円相当)。18歳から39歳の健診事業、はり等施術事業、お口のクリーニング事業に利用できる。18歳から39歳の健診事業は26年度からの新規事業。受診希望者に対し受診券を発行し、特定健診と同様の健診を実施する。	柏市医師会	①なし ②なし	被保険者の健康の保持増進 若い世代からの生活習慣病予防							18歳から39歳の健診実施状況	<p>平成30年度は健診受診の習慣化及び生活習慣病の早期発見、早期治療による重症化の予防を目的に「プレ特定健診」として、利用勧奨を35歳から39歳までに拡大し、2回受診勧奨を実施した。</p> <p>結果、健診受診者数は大幅に増加した。令和元年度も引き続き、35歳から39歳までの国保被保険者に対し、利用勧奨を実施する。</p> <p>また生活習慣の改善を要する方に対し、保健指導を実施する。</p>	「柏市国民健康保険第2期保健事業実施計画(データヘルス計画)」、「柏市国民健康保険第3期特定健診等実施計画」の計画期間の中間年となることから、中間評価を実施する。					
												H26			H27	H28	H29	H30	
												受診券発行数							
												72人			83人	237人	218人	479人	
												受診者数							
												42人			53人	158人	138人	291人	

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②H30年度新規 連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成30年度取り組みの成果、今後の課題と考察 及び令和元年度の取り組みについて	令和2年度の方向性				
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期							
保健所 健康増 進課	柏市健康診 査 (無保険者) (*)	40歳以上で、無保険の 生活保護受給者を対象 に、特定健診と同内容の 健診を指定医療機関に て実施。 対象者に個別通知、希 望者は申し込み。	生活支援課 柏市医師会	①なし ②なし	内臓脂肪症候 群の予防、罹 患している病 状の安定や重 症化予防への 行動が取れる ようにする。													
						受診者数												
						H26	H27	H28	H29	H30								
						210人	224人	239人	278人	321人								

8. 循環器疾患

(1)若い世代からの循環器疾患の発症予防と重症化予防																								
①循環器疾患の指摘を受けた人の割合の減少																								
②循環器疾患による死者数の減少																								
③循環器疾患医療費(国民健康保険 1月あたりの総点数)の減少																								
④LDLコレステロールが140mg/dl以上の人の割合(40歳以上)の減少																								
⑤収縮期血圧が140mmHg以上の人の割合(40歳以上)の減少																								
⑥拡張期血圧が90mmHg以上の人の割合(40歳以上)の減少																								
⑦【再掲】メタボリックシンドローム[内臓脂肪症候群]の該当者及び予備群該当者の割合(40歳以上)の減少																								
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②H30年度新規 連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成30年度取り組みの成果、今後の課題と 考察及び令和元年度の取り組みについて	令和2年度の方向性										
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期													
市民生活部 保険年金課	柏市国民健康保険特定健康診査・特定保健指導(※)	<p><特定健康診査> 40歳以上の柏市国保加入者を対象に、生活習慣病予防を目的とした健診を実施。</p> <p><特定保健指導> 特定健診の結果よりメタボリックシンドロームのリスクのある対象者を抽出し、6か月間の生活習慣改善のための特定保健指導を実施。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・柏市医師会 ・ちはら県民保健予防財団 ・人間ドック、脳ドック実施医療機関 ・JA(ちはら東葛、東葛ふたば、いちかわ) ・千葉県厚生農業共同組合連合会 ・沼南商工会 ・柏商工会議所 	<ul style="list-style-type: none"> ①DPPヘルスパートナーズ ②千葉県国保連合会 	生活習慣病の発症及び重症化の予防								特定健康診査受診率(法定報告)(再掲)	<p>「千葉県平均よりも高血圧症の該当率が男女とも高い」及び、「糖代謝異常、高血圧症、腎機能低下で医療機関受診が必要な人の約4割が医療機関を未受診又は受診の確認ができない」という健康課題を踏まえ、「糖尿病」や「高血圧症」の重症化を予防するため、平成29年度の特定健診の結果、「HbA1c」と「血圧」が保健指導値以上の方に対し、糖尿病専門医による健康講座を実施した。また受講者が医療機関の受診につながったかどうかの確認を実施した。</p> <p>令和元年度は、「血圧」及び「血中脂質」が保健指導値以上の方に対し、循環器専門医による健康講座を実施する。</p>	<p>「柏市国民健康保険第2期保健事業実施計画(データヘルス計画)」、「柏市国民健康保険第3期特定健診等実施計画」の計画期間の中間年となることから、中間評価を実施する。</p>									
												H26	H27			H28	H29	H30	40.8%	42.0%	42.3%	42.4%	11月1日以降確定	

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②H30年度新規 連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成30年度取り組みの成果、今後の課題と 考察及び令和元年度の取り組みについて	令和2年度の方向性					
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期								
市民生活部 保険年金課	国保 保健 事業利用費 助成事業 (18歳から39 歳の健診) (*)	18歳以上の柏市国保被 保険者に対し、申請に基 づき保健事業利用券を 年間8枚交付(1枚1,000 円相当)。18歳から39歳 の健診事業、はり等施術 事業、お口のクリーニン グ事業に利用できる。18 歳から39歳の健診事業 は26年度からの新規事 業。受診希望者に対し 受診券を発行し、特定健診 と同様の健診を実施す る。	柏市医師会	①なし ②なし	被保険者の健康 の保持増進 若い世代からの 生活習慣病予 防					○	18歳から39歳の健診実施状況					平成30年度は健診受診の習慣化及 び生活習慣病の早期発見、早期治 療による重症化の予防を目的に「プ レ特定健診」として、利用勧奨を35歳 から39歳までに拡大し、2回受診勧 奨を実施した。 結果、健診受診者数は大幅に増加し た。 令和元年度も引き続き、35歳から39 歳までの国保被保険者に対し、利用 勧奨を実施する。 また生活習慣の改善を要する方に 対し、保健指導を実施する。	「柏市国民健康保険第 2期保健事業実施計画 (データヘルス計画)」、 「柏市国民健康保険第 3期特定健診等実施計 画」の計画期間の中間 年となることから、中間 評価を実施する。		
											H26	H27	H28	H29	H30				
											受診券発行数								
											72人	83人	237人	218人	479人				
											受診者数								
42人	53人	158人	138人	291人															
保健所 健康増 進課	柏市健康診 査 (無保険者) (*)	40歳以上で、無保険の 生活保護受給者を対象 に、特定健診と同内容の 健診を指定医療機関に て実施。 対象者に個別通知、希 望者は申し込み。	生活支援課 柏市医師会	①なし ②なし	内臓脂肪症候 群の予防、罹患 している病状の 安定や重症化 予防への行動 が取れるように する。					○	○	受診者数					生活保護法改正に伴い、令和3年よ り健康管理支援事業が施行される。 生活支援課が行う健康管理支援事 業の目標に沿いながら、当健康診査 の在り方や実施方法について、生活 支援課と連携し検討していく。	生活支援課が行う健康 管理支援事業に関して 計画を立て準備する。	
												H26	H27	H28	H29	H30			
												210人	224人	239人	278人	321人			
保健所 健康増 進課	柏市地域栄 養相談ス テム (*)	生活習慣病等で治療中 の市民が、かかりつけ医 の紹介により、市内の病 院で管理栄養士の栄養 指導が受けられるシス テム。かかりつけ医での治 療及び適切な食事療法 を継続し、生活習慣病の 重症化予防を図る。	柏市医師会 病院栄養士 協議会(柏地 区)	①なし ②なし	内臓脂肪症候 群の予防、罹患 している病状の 安定や重症化 予防への行動 が取れるように する。					○	○	○	利用者数(延べ数)					平成30年度の延べ利用者は184人と 平成29年度を下回ったが、実人数は 125人→137人と伸びている。 このシステムを利用しているクリニ ックが固定化してきていることも課題と なっている。 令和元年度は、このシステムの利用 促進を図るために、利用の手引きを 作成配布した。また周知方法等、病 院栄養士協議会と検討していく。 また、行動変容のステージモデルを 活用し、指導をした方の行動変容を 評価し、この事業の評価につなげた い。	令和元年に利用促進 のために作成した手引 き、周知用リーフレット の利用方法、利用率等 を調査し、クリニックに おいてより活用しやす いように工夫をしてい く。 指導した方の行動変容 を評価し、指導内容を 継続させるための手立 てを考えていく。
													H26	H27	H28	H29	H30		
													109人	98人	225人	214人	184人		

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②H30年度新規 連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ					実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成30年度取り組みの成果、今後の課題と 考察及び令和元年度の取り組みについて	令和2年度の方向性				
						乳幼児期	学童期	思春期									
保健所 健康増 進課	健康づくり普 及啓発事業 (※)	イベント、健康教育等 の中で運動、食、タバコ等健 康に関する啓発を実施。 一般市民を対象とし、幅 広いテーマについての啓 発を行う。	庁内関係各 課 各種団体及 び企業関係	①モラージュ柏 第一生命 ②なし	幅広いライフ ステージの市民を 対象にポピュ レーションア プローチをす ること、健康に 関する気づきの場 を作る。							平成30年度は、主に保健師による健 康教育において、予防啓発を実施し た。令和元年度も引き続き実施予 定。 また令和元年度より第一生命との協 定により、啓発チラシの配布を依頼 しており、循環器疾患を含む生活習 慣病についても広く周知、啓発して いく予定。	増進計画の目標達成 に近づける内容の啓 発を行っていく。				
						啓発実施者数(全数)					H26			H27	H28	H29	H30
											6,109人			5,235人	4,869人	1,872人	2,657人
						※H28年度までは、柏市民健康づくり推進員の活 動を含む					依頼の健康教育参加者数(講師:保健師)						
											-			-	-	-	95人
					※H30年度～健康増進課として計上												
保健所 健康増 進課	地域・職域 連携推進事 業 (*)	・柏地域・職域連携推進 協議会 ・事業所向けの健康情報 等のメール配信 ・啓発リーフレットの配布 ・事業所向け講習会	柏労働基準 監督署/柏労 働基準協会/ 柏商工会議 所/柏市沼南 商工会/代表 企業(2社)/東 葛北部地域 産業保健セン ター/全国健 康保険協会 千葉支部/柏 市医師会/柏 歯科医師会	①健康づくりに 取り組む事業 所 (3社) ②柏労働基準 協会	働く世代の生活 習慣病予防とこ ころの健康づく りの推進 社員の健康づく りに積極的に取 り組む事業所の 増加							・30年度は年間11回のメール配信を 行う中で、生活習慣病予防に関する 情報を配信。健康づくりに取り組む 事業所紹介は3社実施。引き続き メール配信の周知を行い、登録事業 所の増加を図る。 ・食生活、適正飲酒、運動、こころの 健康、禁煙、歯・口腔の健康、健(検) 診や各種相談窓口の情報をまとめ たリーフレットを作成し、事業所等に 配布。 ・H30年度より、協議会の参加団体と して柏労働基準協会が加わった。事 業所への情報発信や講習会の共催 など連携を図り、効果的な事業展開 につなげていく。	働く世代の健康づくり、 職場での健康づくりの 推進につながる配信内 容、啓発方法の検討				
						メール配信登録事業所数					H26			H27	H28	H29	H30
											13社			13社	27社	36社	47社
						講習会参加事業所数					-			8社	15社	29社	52社

(2) 定期的な健康診査の受診

⑧【再掲】柏市国民健康保険特定健康診査の受診率(法定報告)の増加

⑨【再掲】柏市国民健康保険特定保健指導の実施率(法定報告)の増加

⑩循環器疾患の指摘を受けたが、放置している人の割合の減少

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②H30年度新規 連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ					実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成30年度取り組みの成果、今後の課題と 考察及び令和元年度の取り組みについて	令和2年度の方向性						
						乳幼児期	学童期	思春期											
市民生活部 保険年金課	柏市国民健康保険特定健康診査・特定保健指導 (*)	<p><特定健康診査> 40歳以上の柏市国保加入者を対象に、生活習慣病予防を目的とした健診を実施。</p> <p><特定保健指導> 特定健診の結果よりメタボリックシンドロームのリスクのある対象者を抽出し、6か月間の生活習慣改善のための特定保健指導を実施。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・柏市医師会 ・ちば県民保健予防財団 ・人間ドック、脳ドック実施医療機関 ・JA(ちば東葛、東葛ふたば、いちかわ) ・千葉県厚生農業共同組合連合会 ・沼南商工会 ・柏商工会議所 	①DPPヘルスパートナーズ ②千葉県国保連合会	生活習慣病の発症及び重症化の予防							特定健康診査受診率(法定報告)(再掲)	<p>特定健診受診率向上のため、年代・性別等を踏まえた、対象者の特性に応じた受診勧奨を実施した。また特定保健指導対象者への利用勧奨通知の発送及び電話にて保健師や管理栄養士等が利用勧奨を実施したことにより、特定保健指導利用者は増加した。</p> <p>令和元年度は、特定健診受診率向上対策として「人工知能(AI)を活用した特定健診受診勧奨事業」に新規に取り組む予定。</p>	「柏市国民健康保険第2期保健事業実施計画(データヘルス計画)」, 「柏市国民健康保険第3期特定健診等実施計画」の計画期間の中間年となることから、中間評価を実施する。					
											H26	H27			H28	H29	H30		
											40.8%	42.0%			42.3%	42.4%	11月1日以降確定		
											特定保健指導実施率(法定報告)(再掲)								
											15.0%	20.1%			21.4%	23.0%	同上		
											LDLコレステロールが140mg/dl以上の人の割合(40歳以上)(年度報告)								
											全体	33.6%			31.8%	31.0%	30.6%		
											男性	27.4%			28.3%	26.7%	25.7%		
											女性	37.2%			37.2%	35.3%	34.2%		
																			収縮期血圧が140mmHg以上の人の割合(40歳以上)(年度報告)
											全体	23.9%			24.6%	24.7%	22.8%		
											男性	27.1%			27.0%	27.7%	25.5%		
					女性	21.7%	22.6%	22.8%	21.1%										
											拡張期血圧が90mmHg以上の人の割合(40歳以上)(年度報告)								
					全体	11.5%	11.9%	11.8%	10.8%										
					男性	15.8%	15.6%	15.8%	14.3%										
					女性	8.5%	9.4%	9.2%	8.4%										

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②H30年度新規 連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成30年度取り組みの成果、今後の課題と 考察及び令和元年度の取り組みについて	令和2年度の方向性							
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期										
市民生活部 保険年金課	国保 保健 事業利用費 助成事業 (18歳から39 歳の健診) (*)	18歳以上の柏市国保被 保険者に対し、申請に基 づく保健事業利用券を 年間8枚交付(1枚1,000 円相当)。18歳から39歳 の健診事業、はり等施術 事業、お口のクリーニン グ事業に利用できる。18 歳から39歳の健診事業 は26年度からの新規事 業。受診希望者に対し 受診券を発行し、特定健診 と同様の健診を実施す る。	柏市医師会	①なし ②なし	被保険者の健 康の保持増進 若い世代からの 生活習慣病予 防							18歳から39歳の健診実施状況	平成30年度は健診受診の習慣化及 び生活習慣病の早期発見、早期治 療による重症化の予防を目的に「プ レ特定健診」として、利用勧奨を35歳 から39歳までに拡大し、2回受診勧 奨を実施した。 結果、健診受診者数は大幅に増加し た。 令和元年度も引き続き、35歳から39 歳までの国保被保険者に対し、利用 勧奨を実施する。 また生活習慣の改善を要する方に 対し、保健指導を実施する。	「柏市国民健康保険第 2期保健事業実施計画 (データヘルス計画)」、 「柏市国民健康保険第 3期特定健診等実施計 画」の計画期間の中間 年となることから、中間 評価を実施する。							
												H26			H27	H28	H29	H30			
												受診券発行数									
												72人			83人	237人	218人	479人			
												受診者数									
						42人	53人	158人	138人	291人											
保健所 健康増 進課	柏市健康診 査 (無保険者) (*)	40歳以上で、無保険の 生活保護受給者を対象 に、特定健診と同内容の 健診を指定医療機関に て実施。 対象者に個別通知、希 望者は申し込み。	生活支援課 柏市医師会	①なし ②なし	内臓脂肪症候 群の予防、罹患 している病状の 安定や重症化 予防への行動 が取れるように する。							受診者数	平成30年度は、ケースワーカーから の声かけによって、生活保護受給者 数から見た受診率は増加している。 令和元年度は生活支援課との連携 を強化し、令和3年1月から開始とな る健康管理支援事業に向けて、事業 体制を整備していく3	40～74歳のすべての 生活保護受給者が健 康診査を受診できるよ うな体制づくり							
												H26			H27	H28	H29	H30			
												210人			224人	239人	278人	321人			

9. がん

(1)がんの発症を防ぐための生活習慣等に関する知識の普及																				
①がんによる死亡者数の減少																				
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②H30年度新規 連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成30年度取り組みの成果、今後の課題と 考察及び令和元年度の取り組みについて	令和2年度の方向性						
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期									
保健所 総務企画課	がん対策	・がん対策検討会議(議員および庁内関係部署、がん診療連携拠点病院)の開催 ・議会への事業報告 ・保健衛生審議会への報告	庁内関係部局 がん診療連携拠点病院 医師会など	②柏労働基準監督署	「柏市がん対策基本条例」に基づき関係機関との連携のもと、がん対策を効果的かつ効率的に推進	○	○	○	○	○	○	がん対策検討会議実施状況	・がん対策検討会議は、全体会のみ の2回を実施。第2回では、労働基準監督署の参加により、『仕事との支援』に関する労働部門の動きを共有。両立支援カードの活用などの意見交換を行った。 →がんと診断を受けた早い段階の方にカードが届けられることが重要であるため、関係機関と連携し設置先の調整を図る予定。 予防啓発に関しては、他課の取り組み、学校でのがん教育について共有。 ・がんサポートハンドブックを第7版に改訂。患者会情報や、仕事との両立に関する相談先の情報等の追加などを行った。 →年々情報量が増加傾向のため、ページの増設を含め、充実した情報提供の実施を検討していく。	第3期がん対策推進基本計画および現状を踏まえ、また、国の「がんとの共生」に関する検討会、計画の中間評価の動向等を見つつ、柏市全体としての取り組みを関係機関で共有・検討しながら推進していく。						
												H26			H27	H28	H29	H30		
保健所 保健予防課 保健所健康増進課	肝炎ウイルス検査	柏市民で、これまで肝炎ウイルス検査を受けたことがなく、他で検査を受ける機会のないかた、感染を心配するリスク行為があったかたを対象に検査を実施。	柏市医師会	①なし ②なし	肝炎ウイルス感染を早期に発見し、適切な検査・治療へつなぐことで、肝硬変や肝がんへの進行による重症化を防ぐ	○	○	○	○			肝炎ウイルス検査実施数	平成28年度より、検査結果陽性者に対してフォローアップ事業を開始し、精密検査や治療へ結びついているかどうかを確認している。同意取得率は6割程度。今後、陽性者フォローアップ事業参加に同意した方への受診勧奨や受診確認方法を確立する。 当事業は、平成26年度より健康増進法に基づく肝炎ウイルス検査として開始。平成30年度で、平成26年度からの5歳刻みへの通知が一巡した。一巡目で未受診だった方への個別勧奨を実施し、未受診者の減少に向けた対応を検討する。	継続して対象者への個別勧奨及び陽性者フォローアップ事業を継続していく。						
																		H26	H27	H28

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②H30年度新規 連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成30年度取り組みの成果、今後の課題と 考察及び令和元年度の取り組みについて	令和2年度の方向性														
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期																	
保健所 健康増 進課	新たなス テージに 入ったがん 検診の総合 支援事業	1 特定の年齢のかたに 無料クーポン、検診手帳 (啓発用)を送付し、該当 するがん検診について、 無料で受診することがで きる。 対象となるがん検診は、 乳、子宮頸がん検診(大 腸はH27年度まで実施)。 2 個別の受診勧奨(新規 登録)・再勧奨(がん検 診登録者の一部)を実 施。 3 精密検査未受診者に 対する受診勧奨通知及び 特定の年齢に達する対象 者への受診勧奨を行う。	柏市医師会 ちば県民保健 予防財団 医療センター	①なし ②なし	がん検診を受け るきっかけとし て、今まで受診 したことがない 人が受診するこ とで、受診率向 上に寄与する。							クーポン利用率	乳がん検診受診率は低下したが、 子宮頸がん検診受診率は上昇してい る。今後も受診率向上に向け啓発活 動を行っていく。 個別の受診再勧奨について、より受 診率向上に効果するよう、対象や方 法を検討していく。	啓発活動は継続し ていく。 個別の受診再勧奨 について、受診率向 上のため本年度の結 果を評価し、さらに内 容を検討していく。														
												H26			H27	H28	H29	H30										
																			大腸がん									
																			9.6%	7.6%	廃止	-	-					
																							乳がん					
																								9.5%	16.0%	12.0%	24.5%	22.8%
保健所 健康増 進課	健康づくり普 及啓発事業 (※) H29年度ま で「成人健診 事業(健康づ くり普及・啓 発)」として実 施していたも のを、H30年 度より「健康 づくり普及啓 発事業」とし て実施	イベント、健康教育等 の中で運動、食、タバコ、 がん検診登録勧奨、がん予 防等健康に関する啓発を 実施。一般市民を対象と し、幅広いテーマについ ての啓発を行う。	庁内関係各 課 各種団体及 び企業関係 ふるさと協議 会 柏市医師会	①モラージュ柏 第一生命 ②なし	・幅広いライフス テージの市民を 対象にポピュ レーションア プローチをす ること、健康に 関する気づき の場を作る。 ・がん検診新規 登録者数の増 加								啓発実施者数(全数)	各イベント、健康教育等で啓発を実 施。令和元年度も引き続き啓発を 行っていく。特にH30年度にがん検診 登録者数が減少したため啓発活動を 強化していく。 また令和元年度より第一生命との協 定により、啓発チラシの配布を依頼し ており、がん検診についても広く周 知、啓発していく予定。	増進計画の目標達成 に近づける内容の啓 発を行っていく。													
																			H26	H27	H28	H29	H30					
																				6,109人	5,235人	4,869人	1,872人	2,657人				
																					※H28年度までは、柏市民健康づくり推進員の活 動を含む							
																					啓発実施者数(がん)							
																					924人	50人	900人	1,450人	2,003人			
																					※H28年度までは、柏市民健康づくり推進員の活 動を含む							
													健康教育参加者数(講師:保健師)															
													-	-	-	-	13,782人											
													がん検診新規登録者数(延人数)															
													26,129人	27,493人	26,100人	28,873人	23,084人											

(2)がん検診の受診																						
②胃がん検診受診率の増加																						
③大腸がん検診受診率の増加																						
④子宮がん検診受診率の増加																						
⑤乳がん検診受診率の増加																						
⑥結核・肺がん検診受診率の増加																						
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②H30年度新規 連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成30年度取り組みの成果、今後の課題と 考察及び令和元年度の取り組みについて	令和2年度の方向性								
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期											
保健所 健康増 進課	がん検診	「がん検診重点健康教育及びがん検診の実施のための指針」(厚生労働省)に基づき、胃、大腸、結核・肺、乳、子宮の各がん検診の実施。	柏市医師会 ちば県民保健 予防財団 医療センター	①なし ②なし	各がんの早期 発見、早期治療 に結びつける。							がん検診受診率					乳がん検診について平成30年度より隔年検診としたことに伴い、本年度より乳がんあいだの年検診を開始する。 胃がん検診は、胃内視鏡検査を導入。胃がん検診受診者全体の4割が胃内視鏡検査を受診。がん発見率は従来の胃エックス線検査より7倍高い結果となった。今後受診者が増加するための周知活動が必要である。 大腸がん検診は個別検診を導入。受診者は全体の1割であったが、今後増加するよう周知活動が必要。	がん検診受診率向上のための効果的な方法を検討する。				
												H26	H27	H28	H29	H30						
												胃がん検診										
												10.3%	9.8%	9.3%	8.2%	8.0%						
												大腸がん検診										
												18.6%	19.9%	18.1%	16.5%	15.3%						
												子宮頸がん検診										
												29.5%	26.3%	28.4%	26.6%	26.1%						
												乳がん検診										
												29.1%	29.4%	30.7%	30.0%	27.8%						
						結核・肺がん検診																
						15.1%	15.8%	16.0%	14.7%	14.2%												
保健所 健康増 進課	新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業 (*)	1 特定の年齢のかたに無料クーポン、検診手帳(啓発用)を送付し、該当するがん検診について、無料で受診することができる。 対象となるがん検診は、乳、子宮頸がん検診(大腸はH27年度まで実施)。 2 個別の受診勧奨(新規登録)・再勧奨(がん検診登録者の一部)を実施。 3 精密検査未受診者に対する受診勧奨通知及び特定の年齢に達する対象者への受診勧奨を行う。	柏市医師会 ちば県民保健 予防財団 医療センター	①なし ②なし	がん検診を受けるきっかけとして、今まで受診したことがない人が受診することで、受診率向上に寄与する。							クーポン利用率					乳がん検診受診率は低下したが、子宮頸がん検診受診率は上昇している。今後も受診率向上に向け啓発活動を行っていく。 個別の受診再勧奨について、より受診率向上に効果するよう、対象や方法を検討していく。	啓発活動は継続していく。 個別の受診再勧奨について、受診率向上のため本年度の結果を評価し、さらに内容を検討していく。				
																H26			H27	H28	H29	H30
												大腸がん										
												9.6%	7.6%	廃止	-	-						
												乳がん										
												9.5%	16.0%	12.0%	24.5%	22.8%						
												子宮頸がん										
												8.1%	11.3%	4.6%	2.9%	4.2%						

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②H30年度新規 連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成30年度取り組みの成果、今後の課題と 考察及び令和元年度の取り組みについて	令和2年度の方向性																																		
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期																																					
保健所 地域保 健課	啓発事業 (※)	イベント等の中で運動、 食、タバコ等健康に関する 啓発を実施。一般市民を 対象とし、幅広いテーマに ついての啓発を行う。	庁内関係各 課 柏市民健康 づくり推進員 各種団体及 び企業関係	①なし ②なし	幅広いライフ ステージの市民を 対象にポピュ レーションア プローチをす ること、健康に 関する気づきの場 を作る。	○	○	○	○	○	○	<table border="1"> <tr><th colspan="5">啓発実施者数(全数)</th></tr> <tr><th>H26</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th></tr> <tr><td>-</td><td>-</td><td>2,298人</td><td>2,169人</td><td>758人</td></tr> </table>	啓発実施者数(全数)					H26	H27	H28	H29	H30	-	-	2,298人	2,169人	758人	地域サロンを中心とした依頼の健康 教育が主となるが、日ごろの地域活 動を生かし、多くの依頼があるよう周 知・啓発を行う。 依頼のテーマだけでなく、運動やタバ コなど健康に関する内容を付加し実 施していく。	引き続き、健康教育 や啓発等を実施し、 地域における健康づ くりを推進する。																			
						啓発実施者数(全数)																																										
H26	H27	H28	H29	H30																																												
-	-	2,298人	2,169人	758人																																												
※喫煙と重複																																																
保健所 健康増 進課	健康づくり普 及啓発事業 (*)	イベント、健康教育等の中 で運動、食、タバコ、がん 検診登録奨励、がん予 防等健康に関する啓発を 実施。一般市民を対象と し、幅広いテーマについ ての啓発を行う。	庁内関係各 課 各種団体及 び企業関係 ふるさと協議 会 柏市医師会	①モラージュ柏 第一生命 ②なし	・幅広いライフ ステージの市民を 対象にポピュ レーションア プローチをす ること、健康に 関する気づきの場 を作る。 ・がん検診新規 登録者数の増 加	○	○	○	○	○	○	<table border="1"> <tr><th colspan="5">啓発実施者数(全数)</th></tr> <tr><th>H26</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th></tr> <tr><td>6,109人</td><td>5,235人</td><td>4,869人</td><td>1,872人</td><td>2,657人</td></tr> </table>	啓発実施者数(全数)					H26	H27	H28	H29	H30	6,109人	5,235人	4,869人	1,872人	2,657人	各イベント、健康教育等で啓発を 実施。令和元年度も引き続き啓発を 行っていく。特にH30年度にがん検診 登録者数が減少したため啓発活動を 強化していく。 また令和元年度より第一生命との協 定により、啓発チラシの配布を依頼し ており、がん検診についても広く周 知、啓発していく予定。	増進計画の目標達成 に近づける内容の啓 発を行っていく。																			
						啓発実施者数(全数)																																										
H26	H27	H28	H29	H30																																												
6,109人	5,235人	4,869人	1,872人	2,657人																																												
※H28年度までは、柏市民健康づくり推進員の活 動を含む	<table border="1"> <tr><th colspan="5">啓発実施者数(がん)</th></tr> <tr><th>H26</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th></tr> <tr><td>924人</td><td>50人</td><td>900人</td><td>1,450人</td><td>2,003人</td></tr> </table>	啓発実施者数(がん)					H26	H27	H28	H29	H30	924人	50人	900人	1,450人	2,003人	<table border="1"> <tr><th colspan="5">健康教育参加者数(講師:保健師)</th></tr> <tr><th>H26</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th></tr> <tr><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>13,782人</td></tr> </table>	健康教育参加者数(講師:保健師)					H26	H27	H28	H29	H30	-	-	-	-	13,782人	<table border="1"> <tr><th colspan="5">がん検診新規登録者数(延人数)</th></tr> <tr><th>H26</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th></tr> <tr><td>26,129人</td><td>27,493人</td><td>26,100人</td><td>28,873人</td><td>23,084人</td></tr> </table>	がん検診新規登録者数(延人数)					H26	H27	H28	H29	H30	26,129人	27,493人	26,100人	28,873人	23,084人
啓発実施者数(がん)																																																
H26	H27	H28	H29	H30																																												
924人	50人	900人	1,450人	2,003人																																												
健康教育参加者数(講師:保健師)																																																
H26	H27	H28	H29	H30																																												
-	-	-	-	13,782人																																												
がん検診新規登録者数(延人数)																																																
H26	H27	H28	H29	H30																																												
26,129人	27,493人	26,100人	28,873人	23,084人																																												
保健所 健康増 進課	地域・職域 連携推進事 業 (*)	・柏地域・職域連携推進 協議会 ・事業所向けの健康情報 等のメール配信 ・啓発リーフレットの配布 ・事業所向け講習会	柏労働基準 監督署/柏労 働基準協会/ 柏商工会議 所/柏市沼南 商工会/代表 企業(2社)/東 葛北部地域 産業保健セ ンター/全国健 康保険協会 千葉支部/柏 市医師会/柏 歯科医師会	①健康づくりに 取り組む事業 所 (3社) ②柏労働基準 協会	働く世代の生活 習慣病予防とこ ころの健康づく りの推進 社員の健康づく りに積極的に取 り組む事業所の 増加	○	○	○	○	△	<table border="1"> <tr><th colspan="5">メール配信登録事業所数</th></tr> <tr><th>H26</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th></tr> <tr><td>13社</td><td>13社</td><td>27社</td><td>36社</td><td>47社</td></tr> </table>	メール配信登録事業所数					H26	H27	H28	H29	H30	13社	13社	27社	36社	47社	・30年度は年間11回のメール配信を 行う中で、がん予防に関する情報を 配信。健康づくりに取り組む事業所紹 介は3社実施。引き続きメール配信の 周知を行い、登録事業所の増加を図 る。 ・食生活、適正飲酒、運動、こころの 健康、禁煙、歯・口腔の健康、健(検) 診や各種相談窓口の情報をまとめた リーフレットを作成し、事業所等に配 布。 ・H30年度より、協議会の参加団体と して柏労働基準協会が加わった。事 業所への情報発信や講習会の共催 など連携を図り、効果的な事業展開 につなげていく。	働く世代の健康づく り、職場での健康づく りの推進につながる 配信内容、啓発方法 の検討																				
						メール配信登録事業所数																																										
H26	H27	H28	H29	H30																																												
13社	13社	27社	36社	47社																																												
<table border="1"> <tr><th colspan="5">講習会参加事業所数</th></tr> <tr><th>H26</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th></tr> <tr><td>-</td><td>8社</td><td>15社</td><td>29社</td><td>52社</td></tr> </table>	講習会参加事業所数					H26	H27	H28	H29	H30	-	8社	15社	29社	52社																																	
講習会参加事業所数																																																
H26	H27	H28	H29	H30																																												
-	8社	15社	29社	52社																																												